

建築工事

# 防水材料ガイドブック

vol.1

公共建築工事標準仕様書（建築工事編）  
令和4年版

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）  
令和4年版

建築工事標準仕様書＜JASS 8 防水工事＞  
2022年版

建築工事共通仕様書＜JIA＞  
2022年版

建設省香計207号認可

 全日アスファルト防水事業協同組合

# 公共建築工事標準仕様

## — 仕様選定の目安 —

屋外	下地の剛性	
	高 <sup>(注)1</sup>	低 <sup>(注)2</sup>
● 高度な防水機能を必要とする屋根 (直下階が電算・電気系諸室の場合等)	A-1 / AI-1	B-1 / BI-1
● 一般事務庁舎等の屋根	A-2 / A-3 / AI-2 / AI-3 AS-T1 / AS-T2	B-2 / BI-2 / D-1 / DI-1 AS-T3 / AS-T4 / AS-J1 ASI-T1 / ASI-J1
● 比較的簡易な建物等の屋根 (自動車車庫、倉庫等)	AS-T2	D-2 / DI-2
屋内	浴室、厨房、貯水槽等	地下室、便所、湯沸室等
	E-1	E-2

(注) 1 下地の構造の剛性が高く、変形・ひび割れの生じるおそれの少ない場合。  
 2 下地の構造の剛性が低く、変形・ひび割れの生じるおそれのある場合。  
 3 機械固定工法、屋内保護密着工法は、ALCパネル下地には用いない。  
 4 七王工業で扱っている仕様のみ記載しております。

# 公共建築改修工事標準仕様

<分類> ① ② ③ 工法

### 【改修工法名称の詳細】

#### ① 既存防水工法による区分

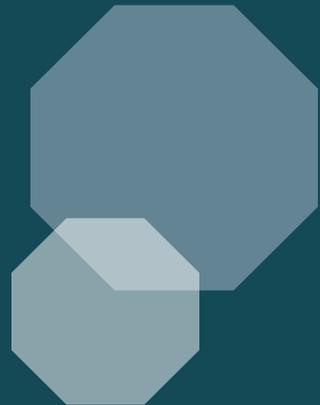
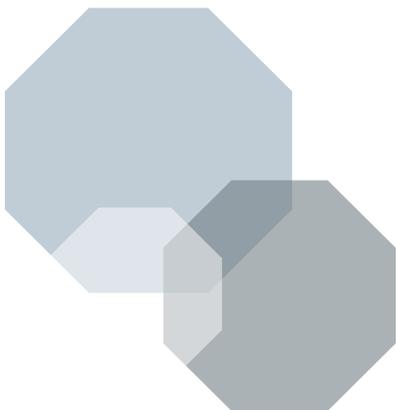
- P — 保護アスファルト・改質アスファルト防水工法（断熱工法を含む）
- M — 露出アスファルト・改質アスファルト防水工法（断熱工法を含む）
- S — 合成高分子系ルーフィングシート防水工法（断熱工法を含む）
- L — ウレタンゴム系塗膜防水工法

#### ② 既存の保護層及び防水層の撤去・非撤去による区分

- 1 — 保護層及び防水層撤去
- 2 — 保護層撤去及び防水層非撤去（立上り部等は、撤去）
- 3 — 露出防水層撤去
- 4 — 露出防水層非撤去（立上り部等は、表 3.1.1 による）
- 0 — 保護層及び防水層非撤去（立上り部等は、表 3.1.1 による）

#### ③ 新規防水工法の種別による区分

- A — 屋根保護防水密着工法
- B — 屋根保護防水絶縁工法
- AI — 屋根保護防水密着断熱工法
- BI — 屋根保護防水絶縁断熱工法
- C — 屋根露出防水密着工法
- D — 屋根露出防水絶縁工法
- DI — 屋根露出防水絶縁断熱工法
- AS — 改質アスファルトシート防水工法
- ASI — 改質アスファルトシート防水絶縁断熱工法
- S — 合成高分子系ルーフィングシート防水工法
- SI — 合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法
- X — ウレタンゴム系塗膜防水工法
- E — 屋内防水密着工法
- Y — ゴムアスファルト系塗膜防水工法



# Contents

## 令和4年版 公共建築工事標準仕様書

## 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### アスファルト防水

	p.
屋根保護防水密着工法 A-1 ● A-2 ● A-3	1
屋根保護防水密着断熱工法 AI-1 ● AI-2 ● AI-3	2
屋根保護防水絶縁工法 B-1	3
B-2	4
屋根保護防水絶縁断熱工法 BI-1	5
BI-2	6
屋根露出防水密着工法 C-1 ● C-2	7
C-3 ● C-4	8
屋根露出防水絶縁工法 D-1	9
D-2	10
屋根露出防水絶縁断熱工法 DI-1 ● DI-2	11
屋内防水密着工法 E-1 ● E-2	12

### 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水密着工法 (トーチ工法) AS-T1 ● AS-T2	13
(常温粘着工法) AS-J2	13
屋根露出防水絶縁工法 (トーチ工法) AS-T3 ● AS-T4	14
(常温粘着工法) AS-J1 ● AS-J3	15
屋根露出防水絶縁断熱工法 (トーチ工法) ASI-T1	16
(常温粘着工法) ASI-J1	17

## 2022 日本建築学会 建築工事標準仕様書<JASS 8 防水工事>

### アスファルト防水

	p.
密着保護仕様 / 密着断熱保護仕様 AC-PF	18
AM-PF	19
絶縁保護仕様 / 絶縁断熱保護仕様 AM-PS	20
絶縁露出仕様 AM-MS	21
断熱露出仕様 AM-MT	21
室内密着仕様 AC-IF	22

### 改質アスファルトシート張付け防水

トーチ防水工法・密着保護仕様 AT-PF1	23
トーチ防水工法・密着保護仕様(地下外壁) AT-PF2	23
トーチ防水工法・密着露出仕様 AT-MF	24
トーチ防水工法・断熱露出仕様 AT-MT	24
常温粘着防水工法・密着保護仕様 AS-PF	25
常温粘着防水工法・絶縁露出仕様 AS-MS	25
常温粘着防水工法・断熱露出仕様 AS-MT	26

## 2022 日本建築家協会 建築工事共通仕様書<JIA>

### アスファルト防水

歩行用屋根防水層 KP-10 ● KP-20	27
歩行用屋根断熱防水層 KPI-10 ● KPI-20	28
露出屋根防水層 KS-10 ● KS-20	29
露出屋根断熱防水層 KSI-10 ● KSI-20	30
室内防水層 KID-10 ● KID-20	31

### 材料紹介

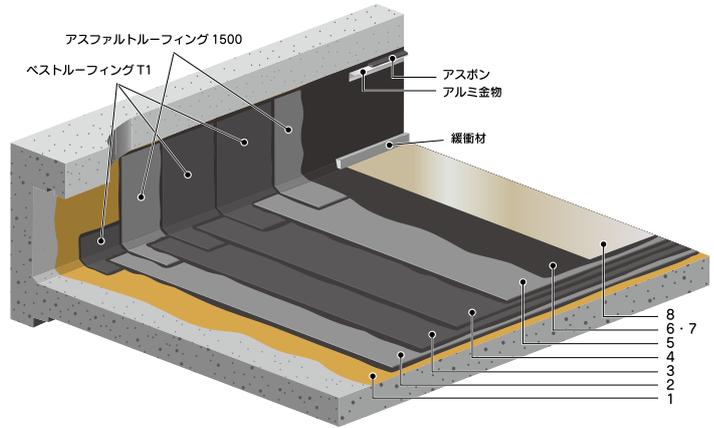
材料一覧表	32
プライマー / 下地処理剤 / 接着剤 / アスファルト	33
アスファルトルーフィング / 改質アスファルトルーフィング	34
改質アスファルトルーフィング / 保護塗料	35
断熱材 / 絶縁シート / 副資材	36
脱気装置 / 改修鉛ドレン / ドレンストレーナキャップ	37

新築 表 9.2.3 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
 改修 表 3.3.6 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

新築 改修 P2A

### A-1

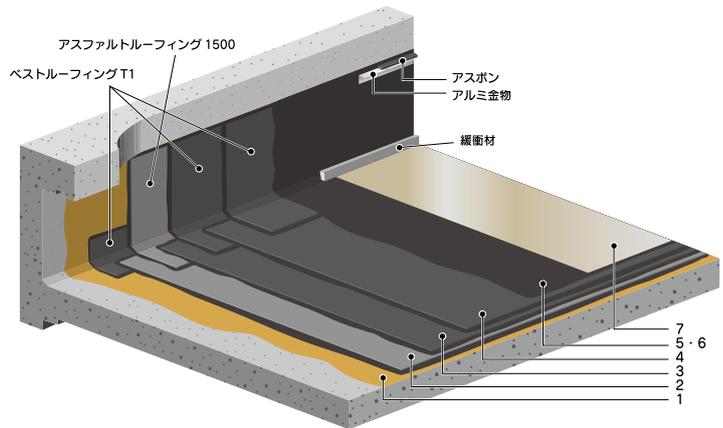
工程	材 料	使用量	七王製品名
1※1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
8	絶縁用シート ※2	—	絶縁スワシートまたは ※2 絶縁スワクロス
9	保護コンクリート ※3,4	—	保護コンクリート ※3,4



### A-2

新築 改修 P2A

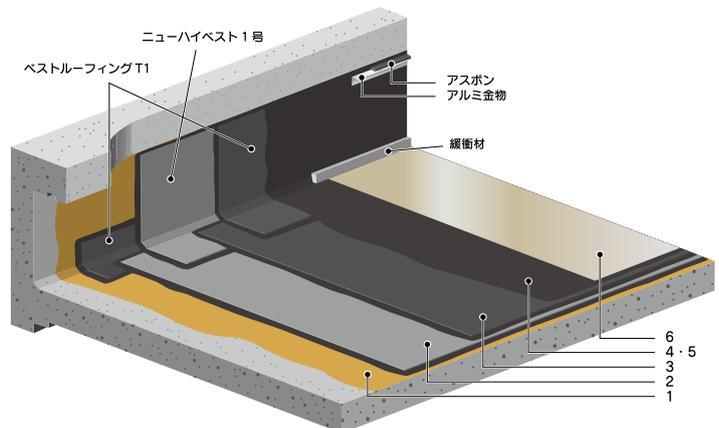
工程	材 料	使用量	七王製品名
1※1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	絶縁用シート ※2	—	絶縁スワシートまたは ※2 絶縁スワクロス
8	保護コンクリート ※3,4	—	保護コンクリート ※3,4



### A-3

新築 改修 P2A

工程	材 料	使用量	七王製品名
1※1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用 R種 1.5mm 以上 アスファルト流し張り)	1.0	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	絶縁用シート ※2	—	絶縁スワシートまたは ※2 絶縁スワクロス
7	保護コンクリート ※3,4	—	保護コンクリート ※3,4



※1 下地が既存防水層の場合は、工程 1 を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)  
 ※2 立上り部は、絶縁用シートを省略する。  
 ※3 立上り部における保護工法は、特記による。  
 ※4 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

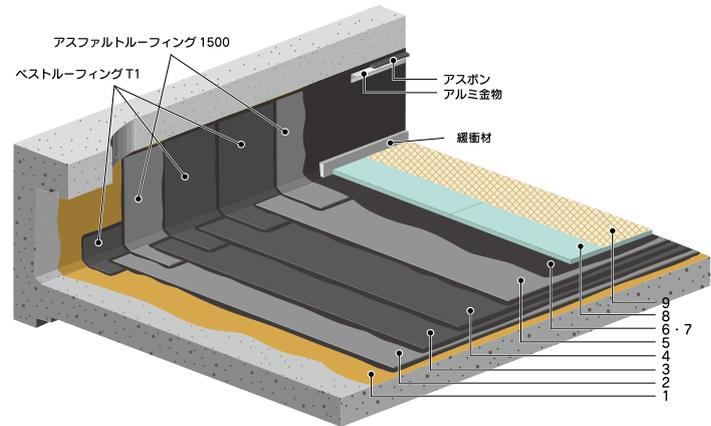
新築 **表 9.2.4** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.3.5** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### AI-1

新築 改修 P2AI

国交省  
アスファルト防水

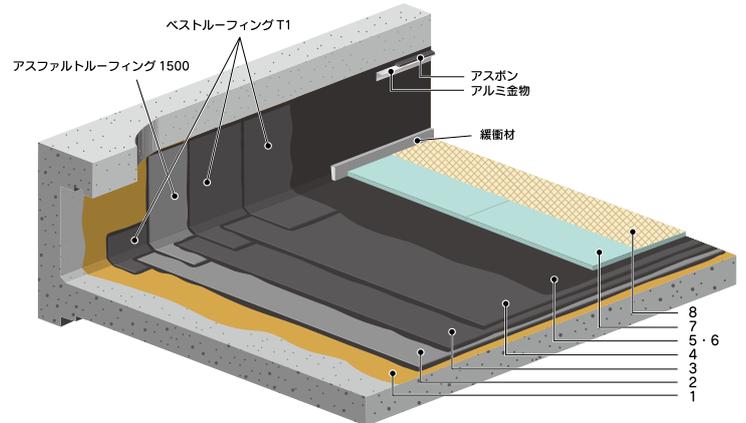
工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド 3
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
8	断熱材 <sup>※2</sup>	—	ミラフォーム M2RS または <sup>※2</sup> カネライトフォームスーパー E-BK
9	絶縁用シート <sup>※2</sup>	—	絶縁スワクロス <sup>※2</sup>
10	保護コンクリート <sup>※3,4</sup>	—	保護コンクリート <sup>※3,4</sup>



### AI-2

新築 改修 P2AI

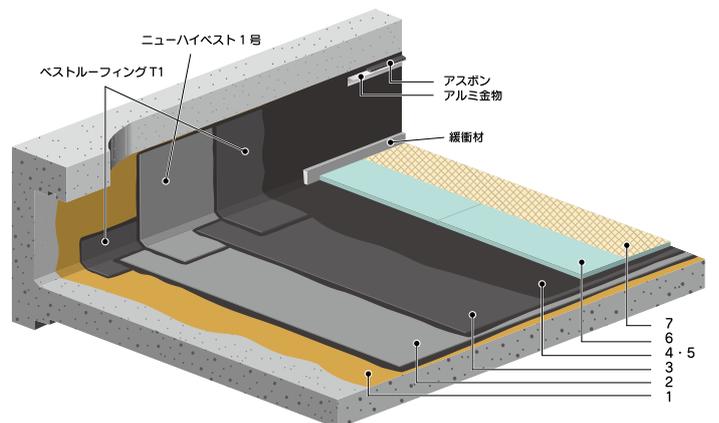
工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	断熱材 <sup>※2</sup>	—	ミラフォーム M2RS または <sup>※2</sup> カネライトフォームスーパー E-BK
8	絶縁用シート <sup>※2</sup>	—	絶縁スワクロス <sup>※2</sup>
9	保護コンクリート <sup>※3,4</sup>	—	保護コンクリート <sup>※3,4</sup>



### AI-3

新築 改修 P2AI

工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出視層防水用 R種)1.5mm 以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	断熱材 <sup>※2</sup>	—	ミラフォーム M2RS または <sup>※2</sup> カネライトフォームスーパー E-BK
7	絶縁用シート <sup>※2</sup>	—	絶縁スワクロス <sup>※2</sup>
8	保護コンクリート <sup>※3,4</sup>	—	保護コンクリート <sup>※3,4</sup>



※1 下地が既存防水層の場合は、工程 1 を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)  
 ※2 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置は、特記による。  
 ※3 立上り部における保護工法は、特記による。  
 ※4 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

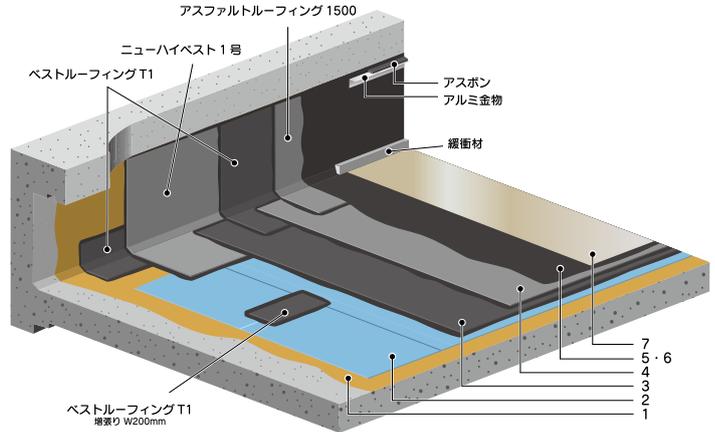
**新築** 表 9.2.5 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
**改修** 表 3.3.3 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### B-1

**新築** **改修** PIB

#### 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC ※1
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	絶縁用シート ※4	—	絶縁スワシートまたは ※4 絶縁スワクロス
8	保護コンクリート ※5,6	—	保護コンクリート ※5,6

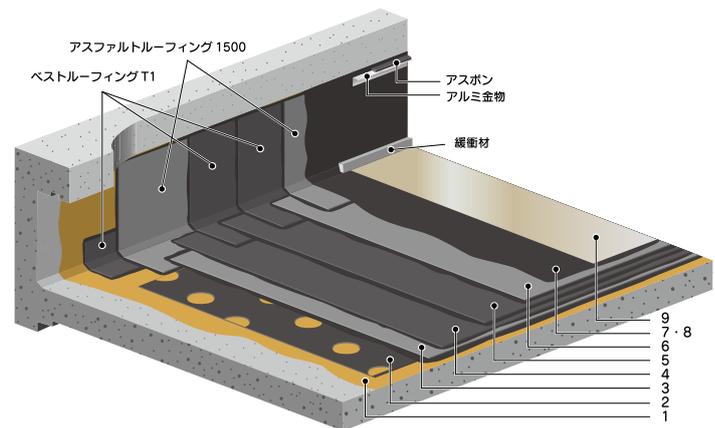


### B-1

**新築** **改修** PIB

#### 砂付あなあきルーフィングを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	砂付あなあきルーフィング ※2	—	穴あき G ※2
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	※3 1.2(1.0)	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
6	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
7	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
8	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
9	絶縁用シート ※4	—	絶縁スワシートまたは ※4 絶縁スワクロス
10	保護コンクリート ※5,6	—	保護コンクリート ※5,6



※1 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート（非露出複層防水用 R種）1.5mm 以上の張付け（使用量 1.0kg/㎡）とする。  
 ※2 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。  
 ※3 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程 3 のアスファルトの使用量を（ ）内とする。  
 ※4 立上り部は、絶縁用シートを省略する。  
 ※5 立上り部における保護工法は、特記による。  
 ※6 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。



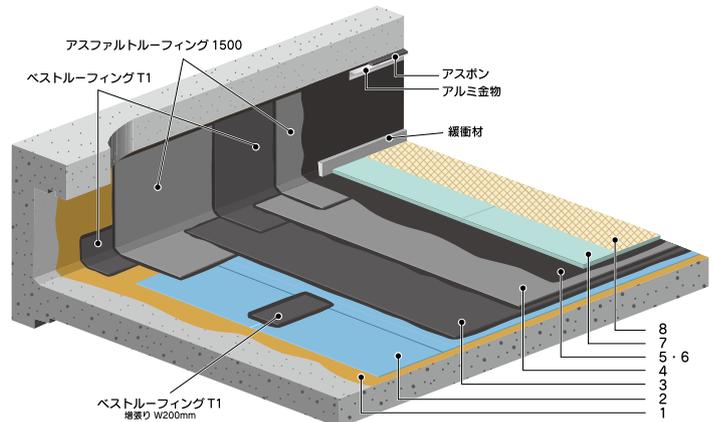
**新築** 表 9.2.6 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
**改修** 表 3.3.4 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### BI-1

**新築** **改修** P1BI

#### 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC ※1
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	断熱材 ※4	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK ※4
8	絶縁用シート ※4	—	絶縁スワクロス ※4
9	保護コンクリート ※5,6	—	保護コンクリート ※5,6

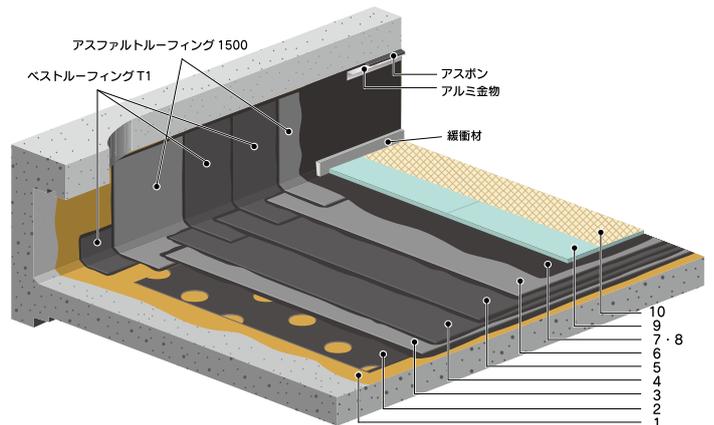


### BI-1

**新築** **改修** P1BI

#### 砂付あなあきルーフィングを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	砂付あなあきルーフィング ※2	—	穴あき G※2
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	※3 1.2(1.0)	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
6	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
7	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
8	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
9	断熱材 ※4	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK ※4
10	絶縁用シート ※4	—	絶縁スワクロス ※4
11	保護コンクリート ※5,6	—	保護コンクリート ※5,6



※1 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート（非露出複層防水用 R種）1.5mm 以上の張付け（使用量 1.0kg/㎡）とする。

※2 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。

※3 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程 3 のアスファルトの使用量を（ ）内とする。

※4 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置は、特記による。

※5 立上り部における保護工法は、特記による。

※6 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

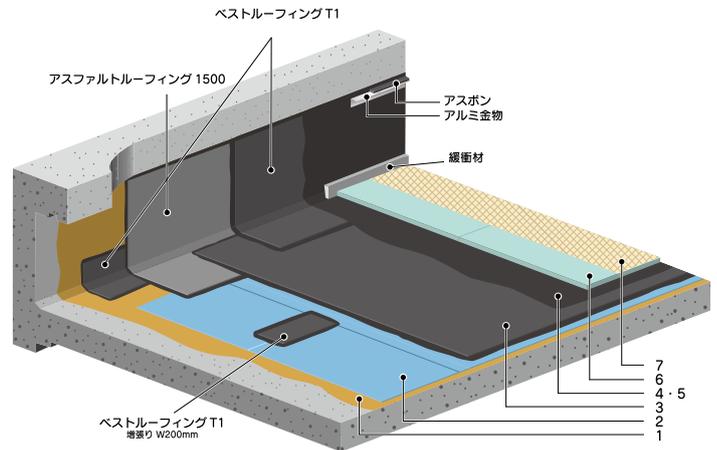
新築 **表 9.2.3** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.3.6** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

## BI-2

新築 改修 P1BI

### 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R 種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC ※1
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	断熱材 ※4	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK ※4
7	絶縁シート ※4	—	絶縁スワクロス ※4
8	保護コンクリート ※5,6	—	保護コンクリート ※5,6

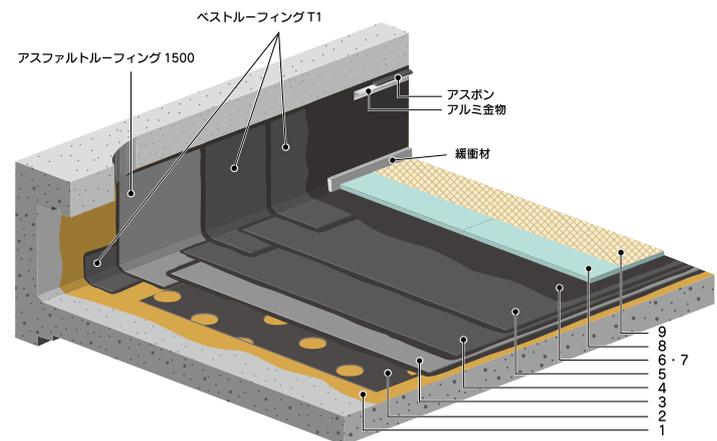


## BI-2

新築 改修 P1BI

### 砂付あなあきルーフィングを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	砂付あなあきルーフィング ※2	—	穴あき G ※2
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	※3 1.2(1.0)	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
8	断熱材 ※4	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK ※4
9	絶縁シート ※4	—	絶縁スワクロス ※4
10	保護コンクリート ※5,6	—	保護コンクリート ※5,6



※1 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート（非露出複層防水用 R 種）1.5mm 以上の張付け（使用量 1.0kg/㎡）とする。

※2 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。

※3 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程 3 のアスファルトの使用量を（ ）内とする。

※4 立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置は、特記による。

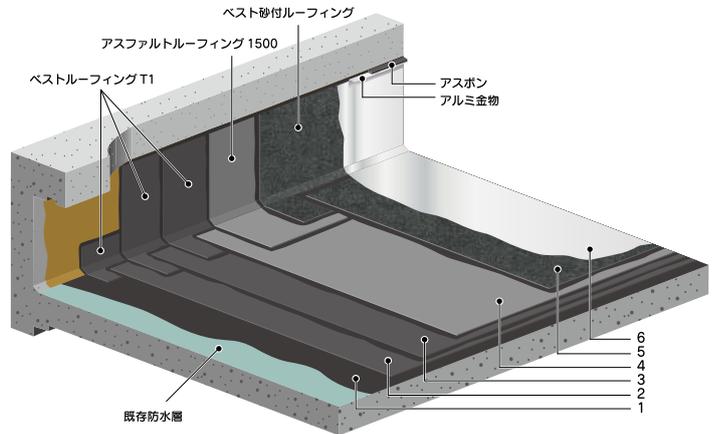
※5 立上り部における保護工法は、特記による。

※6 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

## C-1

改修 M4C

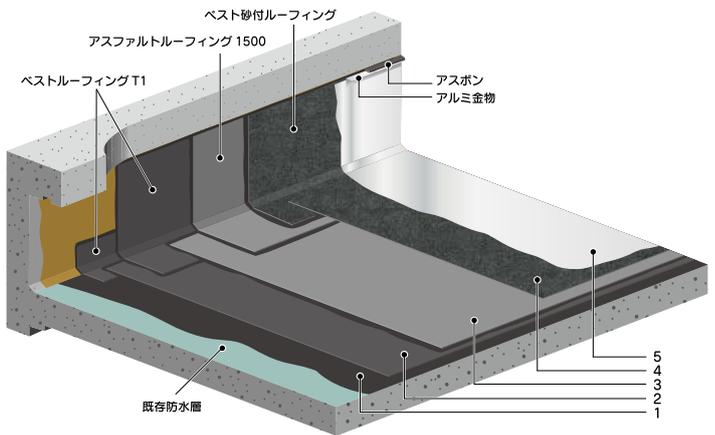
工程	材 料	使用量	七王製品名
1※1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
5	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
6	仕上塗料塗り ※2	—	保護塗料 ※2



## C-2

改修 M4C

工程	材 料	使用量	七王製品名
1※1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
4	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
5	仕上塗料塗り ※2	—	保護塗料 ※2



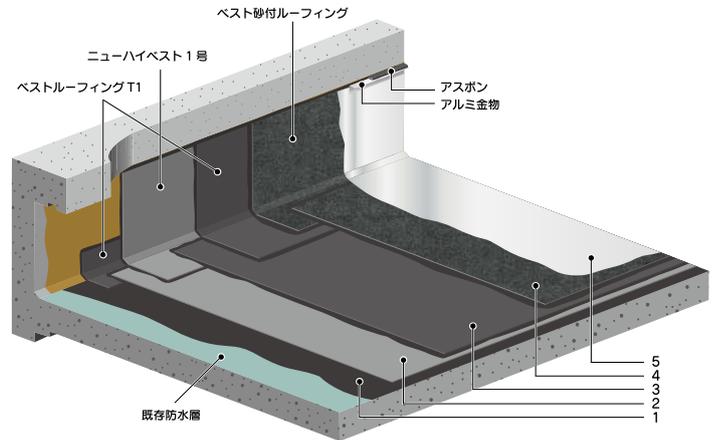
※1 下地が既存防水層の場合は、工程 1 を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)

※2 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。(改修仕様書より)

## C-3

改修 M4C

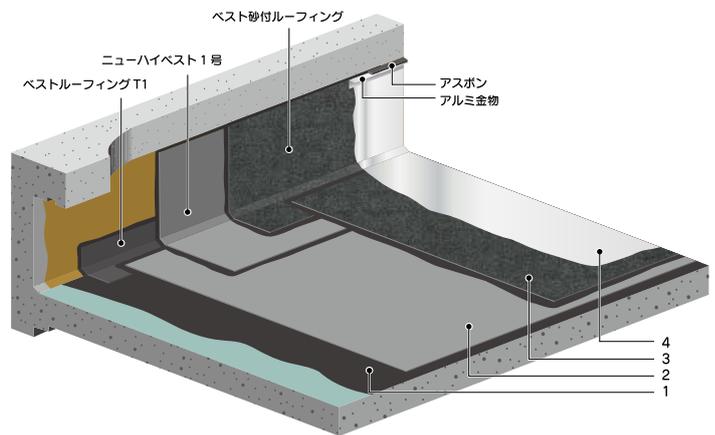
工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出側露出防水用 R種)1.5mm以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューハイベスト1号 アスコンバウンド3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンバウンド3
4	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンバウンド3
5	仕上塗料塗り <sup>※2</sup>	—	保護塗料 <sup>※2</sup>



## C-4

改修 M4C

工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナノアスファルトプライマー
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出側露出防水用 R種)1.5mm以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューハイベスト1号 アスコンバウンド3
3	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンバウンド3
4	仕上塗料塗り <sup>※2</sup>	—	保護塗料 <sup>※2</sup>



※1 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)

※2 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。(改修仕様書より)

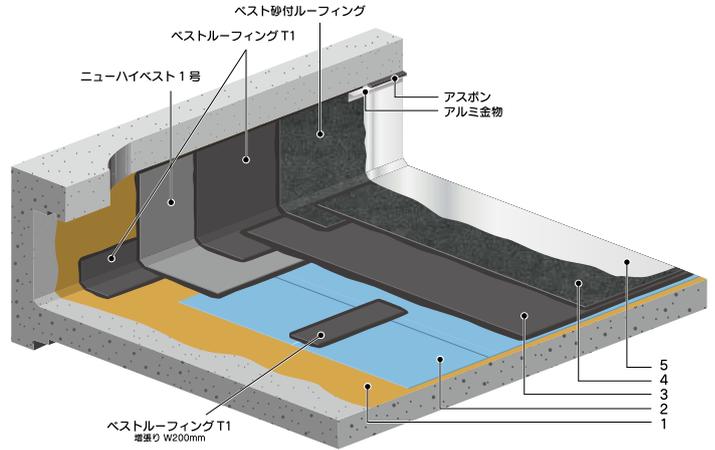
新築 表 9.2.7 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
 改修 表 3.3.8 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### D-1

新築 改修 M3D・POD

#### 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2 <sup>※1</sup>	ナノアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC <sup>※2</sup>
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
4	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンバウンド 3
5	仕上塗料塗り <sup>※5</sup>	—	保護塗料 <sup>※5</sup>

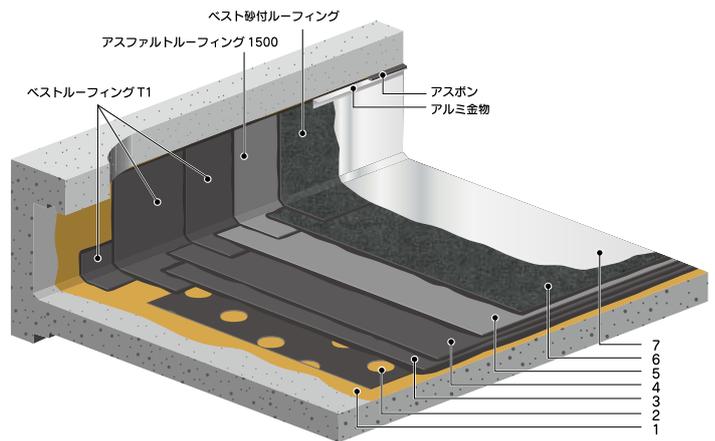


### D-1

新築 改修 M3D・POD

#### 砂付あなあきルーフィングを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2 <sup>※1</sup>	ナノアスファルトプライマー
2	砂付あなあきルーフィング <sup>※3</sup>	—	穴あき G <sup>※3</sup>
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.2(1.0) <sup>※4</sup>	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンバウンド 3
6	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンバウンド 3
7	仕上塗料塗り <sup>※5</sup>	—	保護塗料 <sup>※5</sup>



※1 POD 工法の場合で、アスファルトプライマーの吸い込みが著しく、工程 1 の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。(改修仕様書より)  
 ※2 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート(非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上の張付け(使用量 1.0kg/㎡)とする。  
 ※3 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。  
 ※4 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程 3 のアスファルトの使用量を( )内とする。  
 ※5 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。

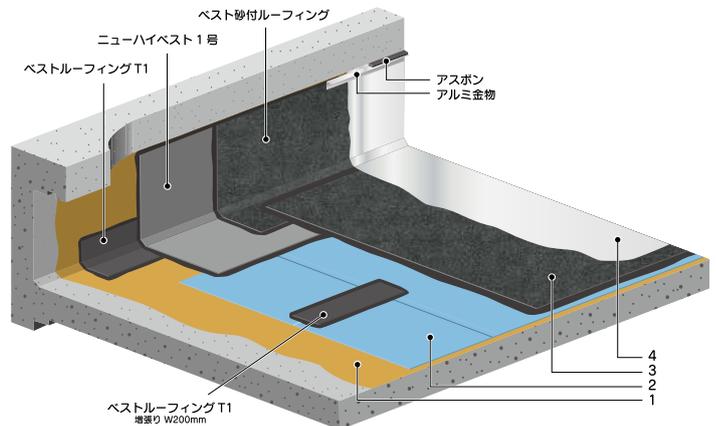
新築 **表 9.2.7** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.3.8** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

## D-2

新築 改修 M3D・POD

### 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	※1 0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC ※2
3	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
4	仕上塗料塗り ※5	—	保護塗料 ※5

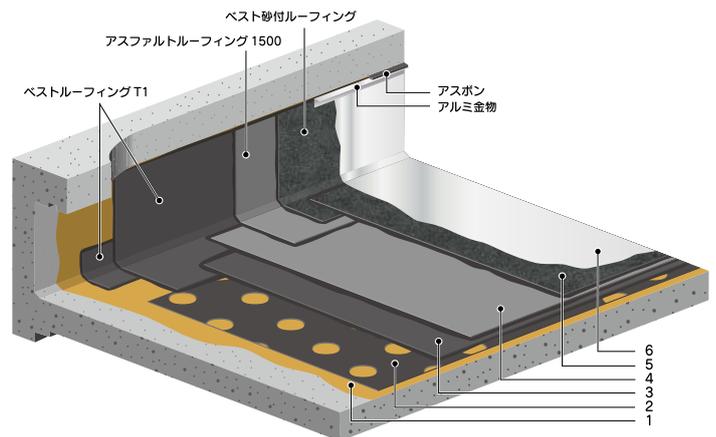


## D-2

新築 改修 M3D・POD

### 砂付あなあきルーフィングを用いる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	※1 0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	砂付あなあきルーフィング ※3	—	穴あき G ※3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	※4 1.2(1.0)	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
5	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベスト砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
6	仕上塗料塗り ※5	—	保護塗料 ※5



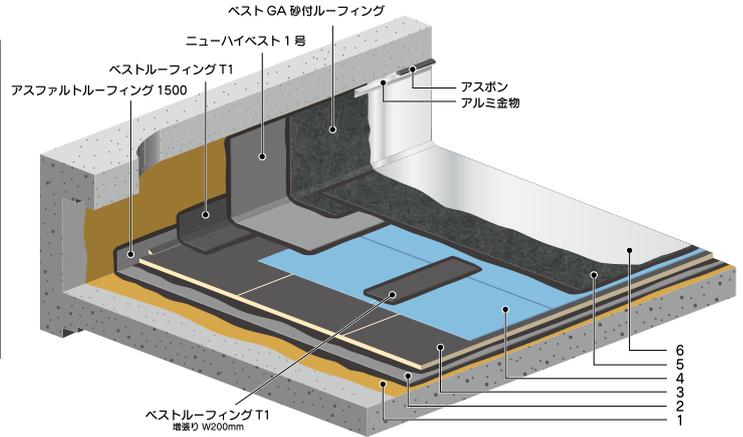
※1 POD 工法の場合で、アスファルトプライマーの吸い込みが著しく、工程 1 の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。(改修仕様書より)  
 ※2 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上の張付け (使用量 1.0kg/㎡) とする。  
 ※3 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。  
 ※4 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程 3 のアスファルトの使用量を ( ) 内とする。  
 ※5 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。

**新築** 表 9.2.8 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
**改修** 表 3.3.9 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### DI-1

**新築** **改修** PODI・M3DI・M4DI

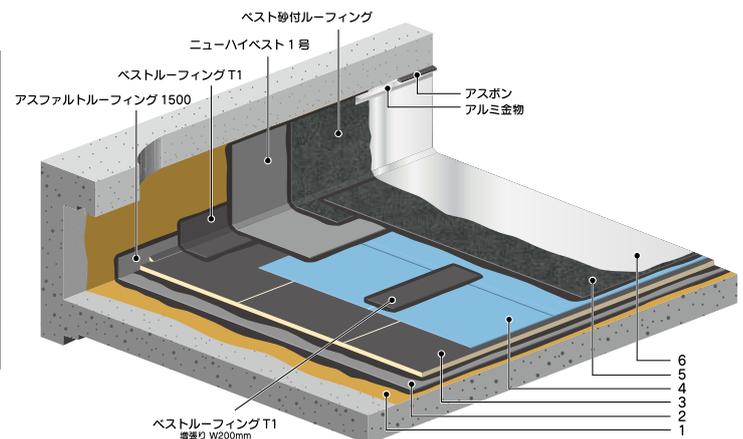
工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	※2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	断熱材張付け	1.0	クランボード F4 または アキレスボード GF アスコンパウンド 3
4	部分粘着層付改質アスファルト ルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC ※4
5	改質アスファルトルーフィングシート (露出複層防水用 R種) 2.0mm 以上 アスファルト流し張り	1.2	ベスト GA 砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
6	仕上塗料塗り ※5	—	保護塗料 ※5



### DI-2

**新築** **改修** PODI・M3DI・M4DI

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	※2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	断熱材張付け	1.0	クランボード F4 または アキレスボード GF アスコンパウンド 3
4	部分粘着層付改質アスファルト ルーフィングシート張付け (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上	—	スポットタック HC ※4
5	砂付ストレッチルーフィングシート アスファルト流し張り	1.2	ベスト砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
6	仕上塗料塗り ※5	—	保護塗料 ※5



※1 下地が既存防水層の場合は、工程 1 及び工程 2 を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)

※2 PODI 工法の場合で、アスファルトプライマーの吸い込みが著しく、工程 1 の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。(改修仕様書より)

※3 立上り部は、工程 2 及び工程 3 を省略する。

※4 立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用 R種) 1.5mm 以上の張付け (使用量 1.0kg/m<sup>2</sup>) とする。

※5 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。

新築 **表 9.2.9** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.3.10** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

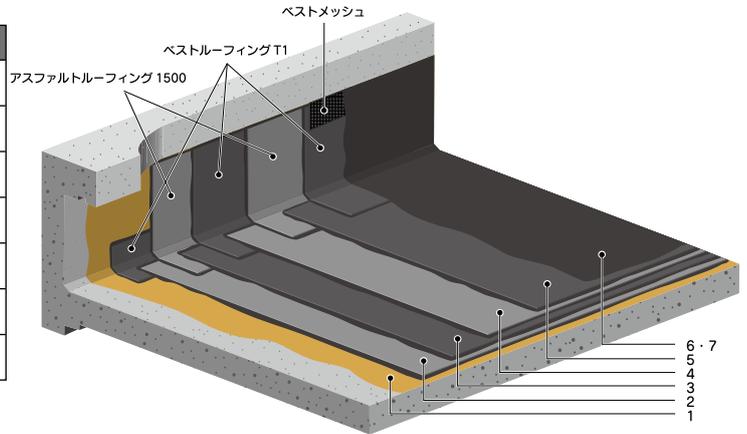
国交省  
アスファルト防水

## E-1

新築 改修 P1E・P2E

### 貯水槽・浴槽等

工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
7	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3

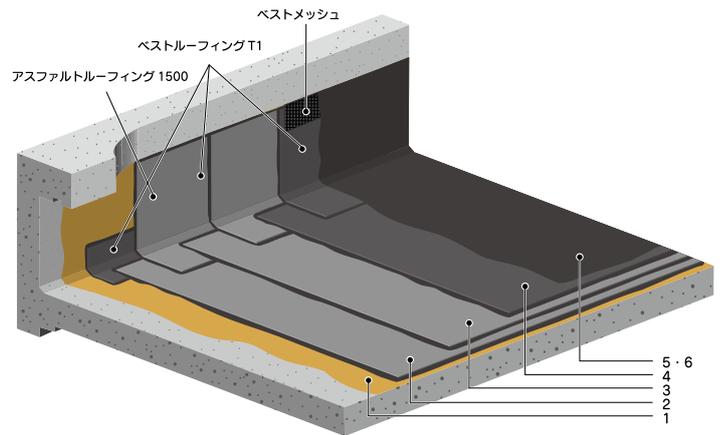


## E-1

新築 改修 P1E・P2E

### 貯水槽・浴槽以外

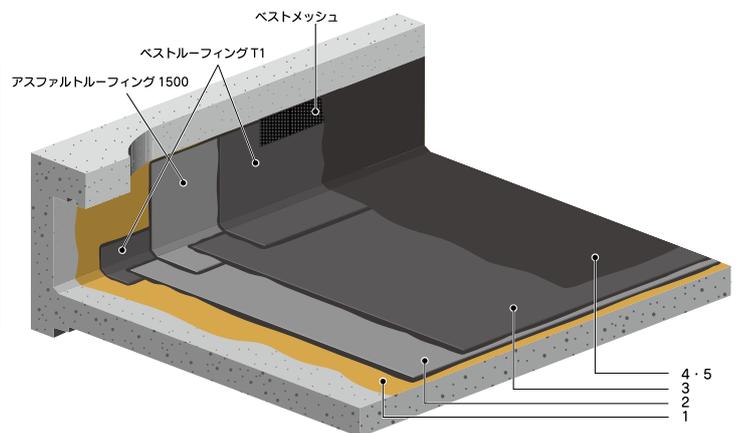
工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
6	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3



## E-2

新築 改修 P1E・P2E

工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※1</sup>	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3
5	アスファルトはけ塗り	1.0	アスコンパウンド 3



※1 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)

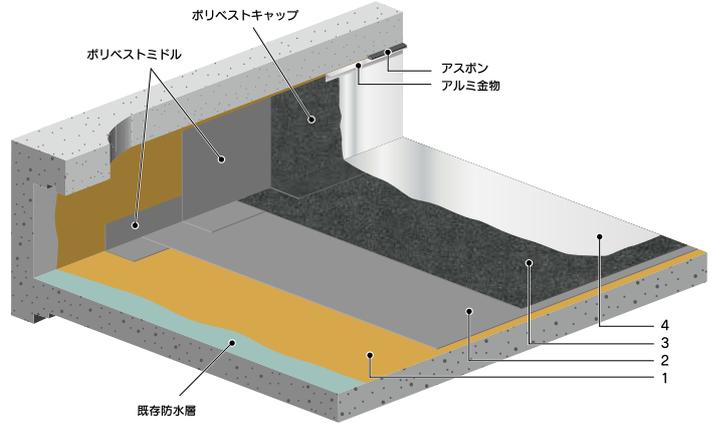
新築 表 9.3.1 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
 改修 表 3.4.1 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

### AS-T1 (トーチ工法)

新築 改修 M4AS

国交省  
改質アスファルトシート防水

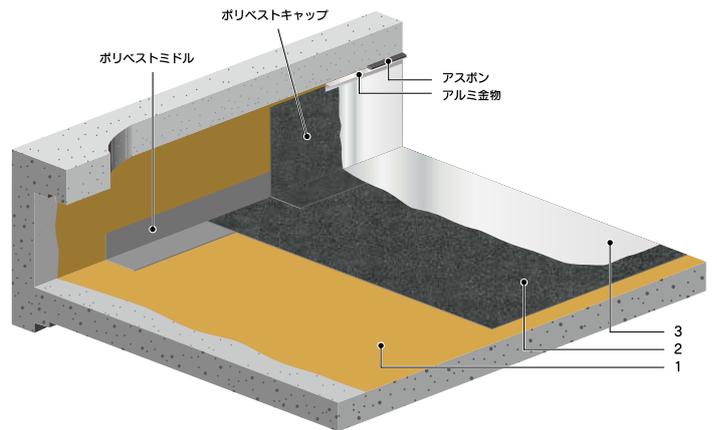
工程	材 料	使用量	七王製品名
1※2	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R種、2.5mm 以上)	—	ポリベストミドル
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用 R種、3.0mm 以上)	—	ポリベストキャップ
4	仕上塗料塗り ※3	—	保護塗料 ※3



### AS-T2 (トーチ工法)

新築 改修 M4AS

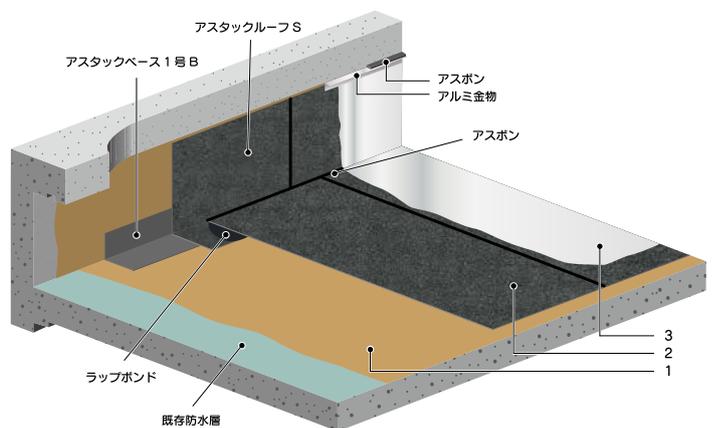
工程	材 料	使用量	七王製品名
1※2	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用 R種、4.0mm 以上)	—	ポリベストキャップ
3	仕上塗料塗り ※3	—	保護塗料 ※3



### AS-J2 (常温粘着工法)

改修 M4AS

工程	材 料	使用量	七王製品名
1※2	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ベースプライマー
2	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用 R種、3.0mm 以上)	—	アスタックルーフ S
3	仕上塗料塗り ※3	—	保護塗料 ※3



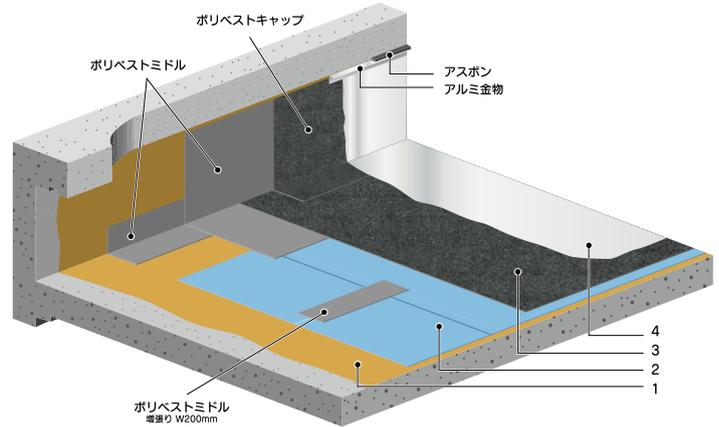
※1 ALC パネル下地の場合、工程 1 のプライマー使用量を ( ) 内とする。  
 ※2 下地が既存防水層の場合は、工程 1 を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)  
 ※3 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシートの製造所の仕様による。

新築 **表 9.3.2** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.4.2** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

## AS-T3 (トーチ工法)

新築 改修 **M3AS・POAS**

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R 種、1.5mm 以上)	※3,5	スポットタック HC ※3,5
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用 R 種、3.0mm 以上)	—	ポリベストキャップ
4	仕上塗料塗り ※7	—	保護塗料 ※7



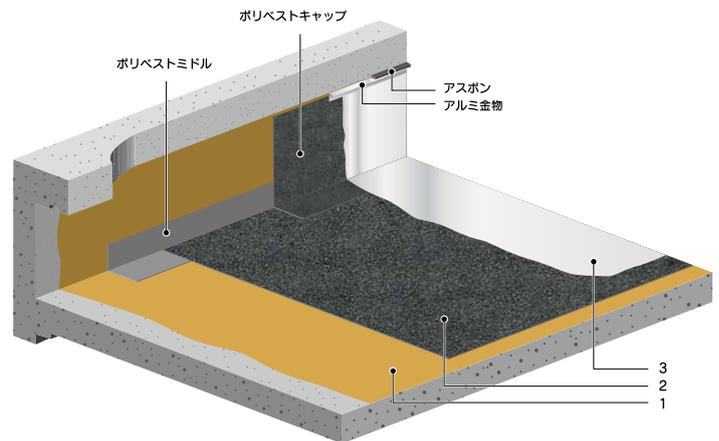
国交省  
改質アスファルトシート防水

## AS-T4 (トーチ工法)

新築 改修 **M3AS・POAS**

改質アスファルトシートを下地に部分的に溶着させる場合

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノオアスファルトプライマー
2	あなあきシート ※4,6	—	—
3	改質アスファルトシート (露出単層防水用 R 種、4.0mm 以上)	—	ポリベストキャップ
4	仕上塗料塗り ※7	—	保護塗料 ※7



※1 ALC パネル下地の場合は、工程 1 のプライマー使用量を ( ) 内とする。  
 ※2 POAS 工法の場合で、プライマーの吸い込みが著しく、工程 1 の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。(改修仕様書より)  
 ※3 AS-T3 で、改質アスファルトシートを下地に部分的に溶着させる場合は、工程 2 を改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R 種、2.5mm 以上) とする。  
 ※4 AS-T4 で、工程 3 に用いる改質アスファルトシートを下地に部分的に溶着させる場合は、工程 2 を省略することができる。  
 ※5 AS-T3 の立上り部は、工程 2 を改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R 種、2.5mm 以上) とする。  
 ※6 AS-T4 の立上り部は、あなあきシートを省略する。  
 ※7 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシート製造所の仕様による。

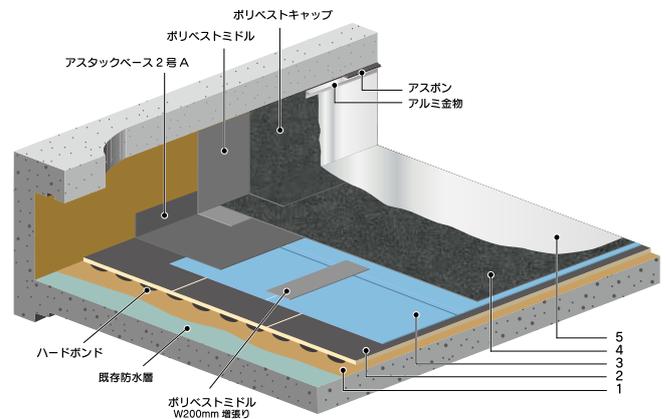
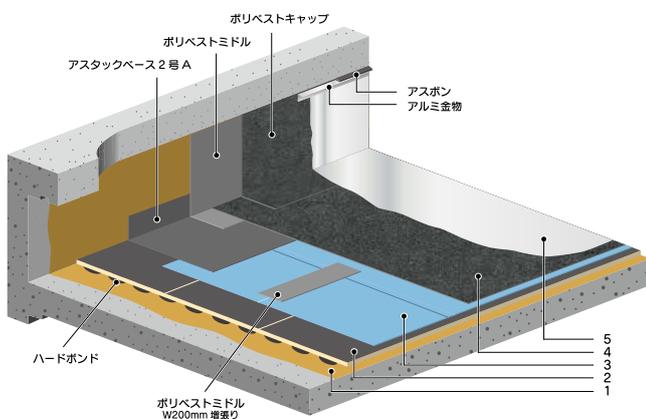


新築 **表 9.3.3** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.4.3** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

## ASI-T1 (トーチ工法)

新築 改修 **M3ASI・M4ASI・POASI**

工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※2</sup>	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノアスファルトプライマー
2	断熱材張付け	0.8	クランボード F4 または アキレスボード GF ハードボンド
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R 種、1.5mm 以上)	—	スポットタック HC <sup>※4</sup>
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用 R 種、3.0mm 以上)	—	ポリベストキャップ
5	仕上塗料塗り <sup>※5</sup>	—	保護塗料 <sup>※5</sup>



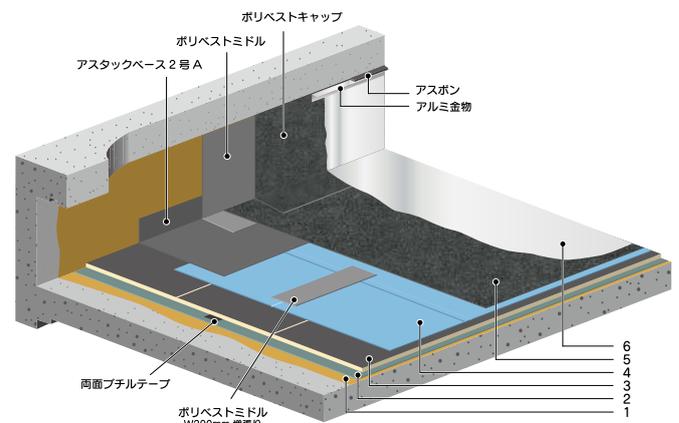
【既存防水層下地あり】

## ASI-T1 (トーチ工法)

新築 改修 **M3ASI・M4ASI・POASI**

### 防湿層あり

工程	材 料	使用量	七王製品名
1 <sup>※2</sup>	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノアスファルトプライマー
2	防湿層 <sup>※3</sup>	—	モイスポット <sup>※3</sup>
3	断熱材張付け	—	クランボード F4 または アキレスボード GF
4	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R 種、1.5mm 以上)	—	スポットタック HC <sup>※4</sup>
5	改質アスファルトシート (露出複層防水用 R 種、3.0mm 以上)	—	ポリベストキャップ
6	仕上塗料塗り <sup>※5</sup>	—	保護塗料 <sup>※5</sup>



※1 ALC パネル下地の場合は、工程 1 のプライマー使用量を ( ) 内とする。  
 ※2 下地が既存防水層の場合は、工程 1 を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)  
 ※3 防湿用シートの設置は、特記による。  
 ※4 ASI-T1 の立上り部は、工程 3 を改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R 種、2.5mm 以上) とする。  
 ※5 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシート製造所の仕様による。

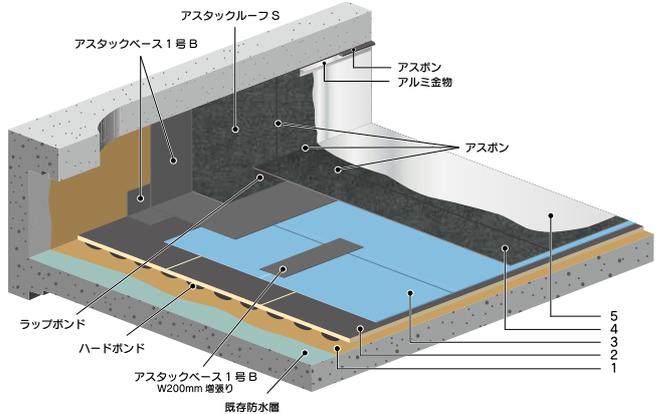
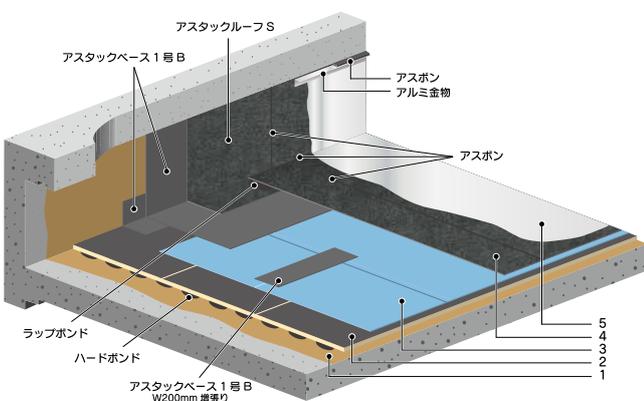
新築 **表 9.3.3** 令和4年版 公共建築工事標準仕様書  
改修 **表 3.4.3** 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書

## ASI-J1 (常温粘着工法)

新築 改修 M3ASI・M4ASI・POASI

国交省  
改質アスファルトシート防水

工程	材 料	使用量	七王製品名
1※2	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノオアスファルトプライマー
2	断熱材張付け	—	クランボード F4 または アキレスボード GF ハードボンド
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R種、1.5mm 以上) ※4	—	スポットタック C ※4
4	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用 R種、2.0mm 以上)	—	アスタックルーフ S
5	仕上塗料塗り ※5	—	保護塗料 ※5



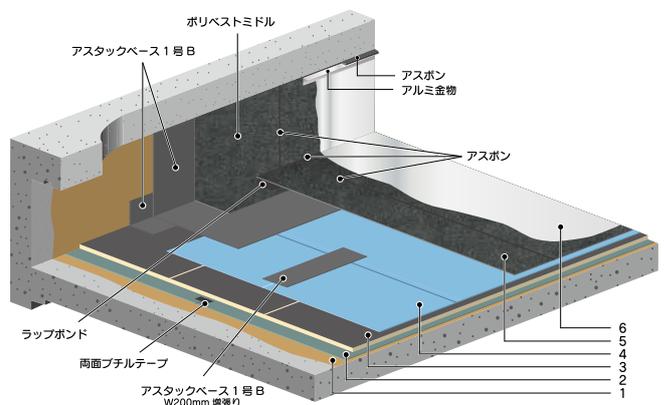
【既存防水層下地あり】

## ASI-J1 (常温粘着工法)

新築 改修 M3ASI・M4ASI・POASI

### 防湿層あり

工程	材 料	使用量	七王製品名
1※2	プライマー塗り	※1 0.2(0.4)	ナノオアスファルトプライマー
2	防湿層 ※3	—	モイスポット ※3
3	断熱材張付け	—	クランボード F4 または アキレスボード GF
4	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用 R種、1.5mm 以上) ※4	—	スポットタック C ※4
5	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用 R種、2.0mm 以上)	—	アスタックルーフ S
6	仕上塗料塗り ※5	—	保護塗料 ※5



※1 ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマー使用量を( )内とする。  
 ※2 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、アスファルト系下地調整材を塗布する。(改修仕様書より)  
 ※3 防湿用シートの設置は、特記による。  
 ※4 ASI-J1の立上り部は、工程3を粘着層付改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、1.5mm以上)とする。  
 ※5 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシート製造所の仕様による。

## AC-PF 密着保護仕様 (断熱なし)

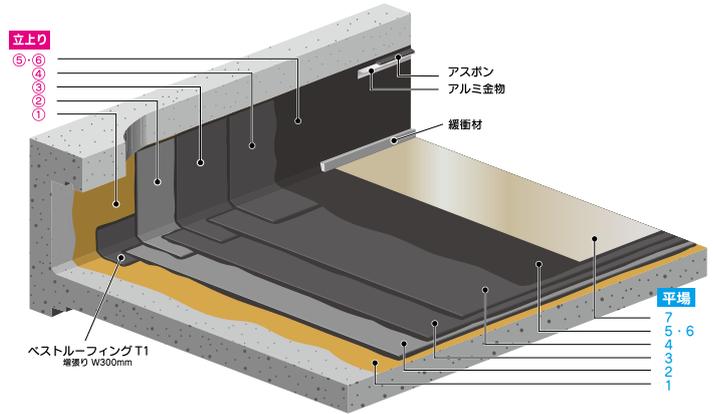
表 1.6.1

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング 1500 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンバウンド 3
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
4	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
6	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
7	絶縁シート敷込み	—	絶縁スワシクロス

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	アスファルトルーフィング 1500 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンバウンド 3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
④	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
⑤	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
⑥	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3



JASS 8

## AC-PF 密着断熱保護仕様 (断熱あり)

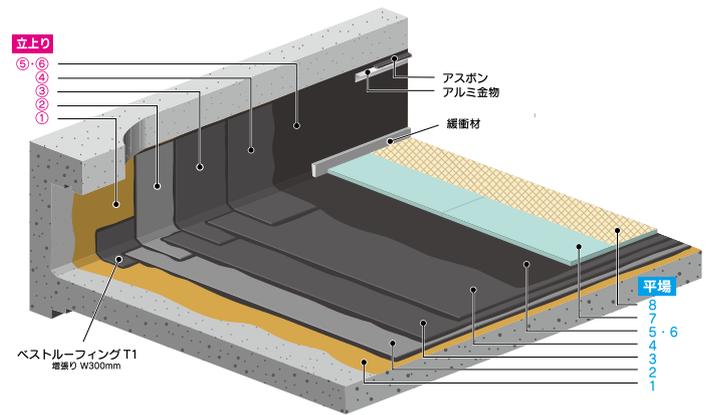
表 1.6.1

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング 1500 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンバウンド 3
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
4	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
6	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
7	断熱材の防水工事用アスファルト による張付け	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK
8	絶縁シート敷込み	—	絶縁スワシクロス

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	アスファルトルーフィング 1500 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	アスファルトルーフィング 1500 アスコンバウンド 3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
④	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
⑤	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
⑥	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3



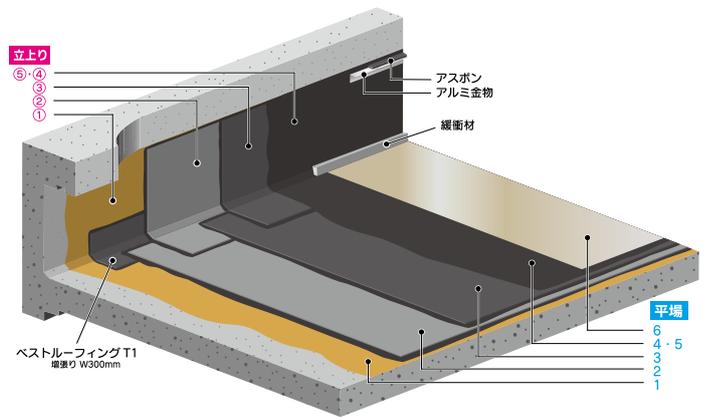
- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
- ※2 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部には、工程 2 に先立ちストレッチルーフィングを用いて絶縁増張り（張りかけ幅 100mm 程度）を行う。
- ※3 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
- ※4 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工事用シール材で処理する。室内のモルタル保護層の場合で立上り高さが低い場合は、押え金物に代えて網状ルーフィングで処理する。
- ※5 出隅・入隅および立上りの出隅・入隅には、工程 2 に先立ち幅 300mm 程度のストレッチルーフィングによる増張り（防水工事用アスファルトの使用量は 1.0kg/㎡とする）を行う。ただし、立上りの保護層を乾式工法とする場合は、立上り面とおしの出隅・入隅の増張りを省略できる。
- ※6 断熱材の厚さは、特記による。
- ※7 張付けに使用する防水工事用アスファルトは、JIS K 2207:2006（石油アスファルト）の防水工事用 3 種とする。防水工事用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022 規格に適合するものとする。
- ※8 平場の現場打ちコンクリート上に植栽を施す場合は、保護層の施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※9 平場の保護層を砂利とする場合は、特記による。

## AM-PF 密着保護仕様 (断熱なし)

表 1.6.2

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ニューハイベスト1号 アスコンパウンド3
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド3
4	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3
6	絶縁シート の敷込み	—	絶縁スワシートまたは絶縁スワクロス



### 立上り RC 下地

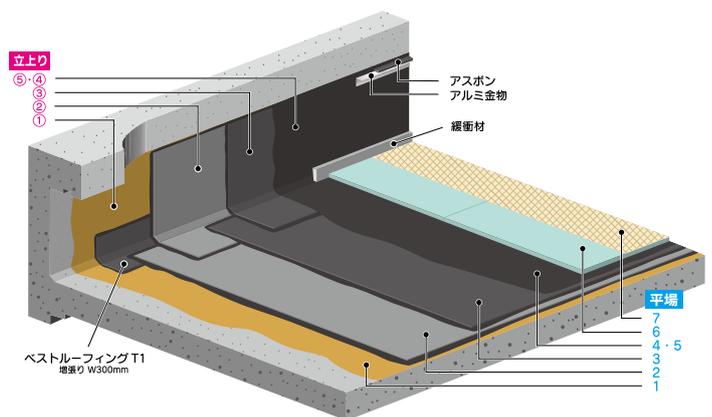
工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ニューハイベスト1号 アスコンパウンド3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド3
④	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3
⑤	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3

## AM-PF 密着断熱保護仕様 (断熱あり)

表 1.6.2

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 防水工事用アスファルト	1.0	ニューハイベスト1号 アスコンパウンド3
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド3
4	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3
6	断熱材の防水工事用アスファルト による張付け	1.0	ミラフォーム M2R5 または カネライトフォームスーパ E-BK
7	絶縁シート の敷込み	—	絶縁スワクロス



### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 防水工事用アスファルト	1.0	ニューハイベスト1号 アスコンパウンド3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ベストルーフィングT1 アスコンパウンド3
④	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3
⑤	防水工事用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド3

- \*1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
- \*2 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部には、工程2に先立ちストレッチルーフィングを用いて絶縁増張り（張りかけ幅100mm程度）を行う。
- \*3 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
- \*4 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工事用シール材で処理する。室内のモルタル保護の場合で立上り高さが低い場合は、押え金物に代えて網状ルーフィングで処理する。
- \*5 出隅・入隅および立上りの出隅・入隅には、工程2に先立ち幅300mm程度のストレッチルーフィングによる増張り（防水工事用アスファルトの使用量は1.0kg/m<sup>2</sup>とする）を行う。  
ただし、立上りの保護層を乾式工法とする場合は、立上りの出隅・入隅の増張りを省略できる。
- \*6 断熱材の厚さは、特記による。
- \*7 張付けに使用する防水工事用アスファルトは、JIS K 2207:2006（石油アスファルト）の防水工事用3種とする。  
防水工事用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022 規格に適合するものとする。
- \*8 平場の現場打ちコンクリート上に植栽を施す場合は、保護層の施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- \*9 平場の保護層を砂利とする場合は、特記による。

## AM-PS 絶縁保護仕様 (断熱なし)

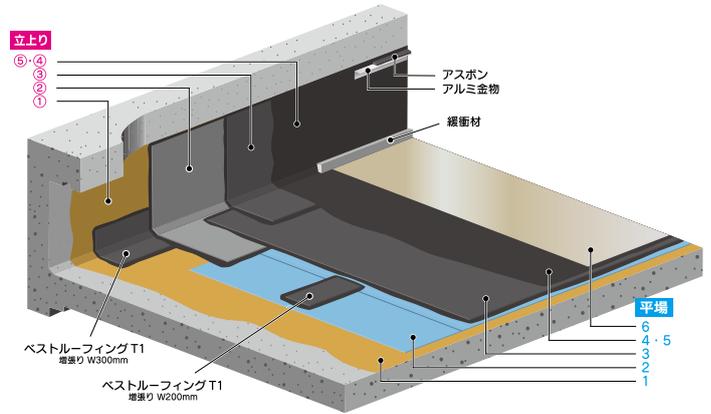
表 1.6.3

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	1.0	スポットタック HC
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
4	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
6	絶縁用シートの敷込み	—	絶縁スワシートまたは絶縁スワクロス

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け 防水工用アスファルト	1.0	ニューハイベスト 1号 アスコンバウンド 3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
④	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
⑤	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3



## AM-PS 絶縁断熱保護仕様 (断熱あり)

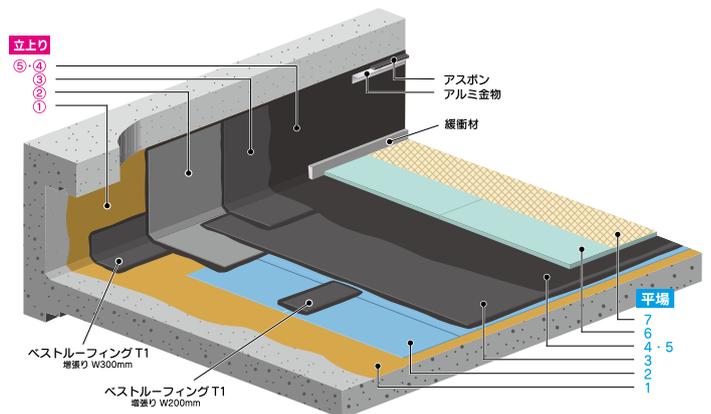
表 1.6.3

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	1.0	スポットタック HC
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
4	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
6	断熱材の防水工用アスファルトによる張付け	1.0	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK
7	絶縁用シートの敷込み	—	絶縁スワクロス

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け 防水工用アスファルト	1.0	ニューハイベスト 1号 アスコンバウンド 3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンバウンド 3
④	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3
⑤	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンバウンド 3



- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
- ※2 立上りの工程 2 は、全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) で代替できるものとする。
- ※3 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
- ※4 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工用シーリング材で処理する。
- ※5 平場の保護層をコンクリート平板類またはアスファルトコンクリートとする場合において、立上りの仕上げ層を仕上塗料またはなしとする場合は、立上り防水の工程 3 を砂付ストレッチルーフィング 800 張付け (防水工用アスファルトの使用量は 1.2kg/㎡とする) とし、工程 4 および工程 5 を削除する。
- ※6 出隅・入隅および立上りの出隅・入隅には、工程 2 に先立ち幅 300mm 程度のストレッチルーフィングによる増張り (防水工用アスファルトの使用量は 1.0kg/㎡とする) を行う。ただし、立上りの保護層を乾式工法とする場合は、立上りの出隅・入隅の増張りを省略できる。
- ※7 仕上塗料の種類と塗布量は、特記による。
- ※8 張付けに使用するアスファルトは、JIS K 2207:2006 (石油アスファルト) の防水工用 3 種とする。防水工用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022 規格に適合するものとする。
- ※9 平場の現場打ちコンクリート上に植栽を施す場合は、保護層の施工に先立ち、耐根シートを敷設する。

## AM-MS 絶縁露出仕様

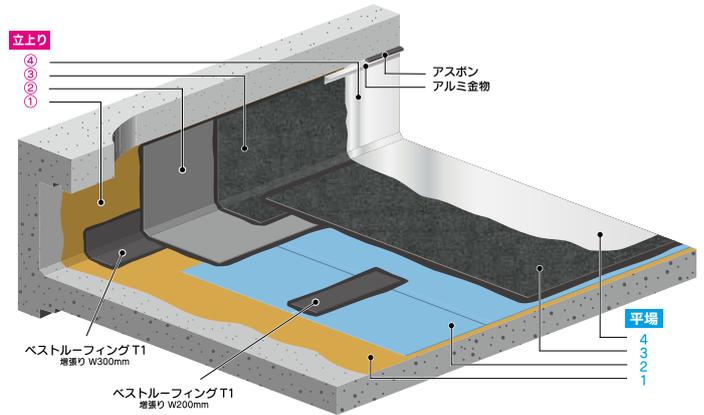
表 1.6.4

### 平場 RC・PCa・ALC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	—	スポットタック HC
3	砂付ストレッチルーフィング 800 流張り 防水工事用アスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け 防水工事用アスファルト	1.0	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
③	砂付ストレッチルーフィング 800 張付け 防水工事用アスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料



## AM-MT 断熱露出仕様

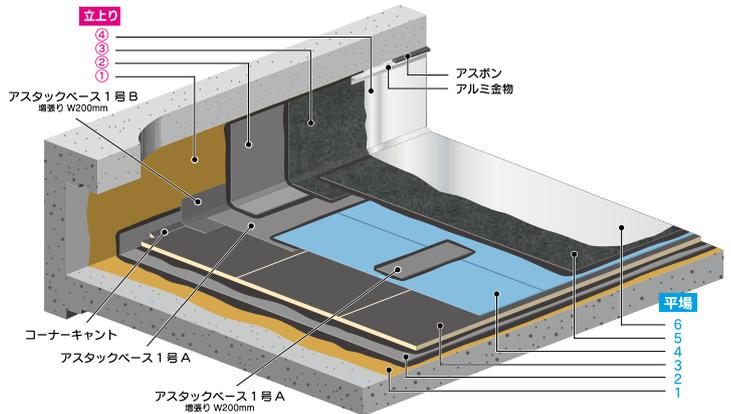
表 1.6.5

### 平場 RC・PCa・ALC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	断熱材 張付け 防水工事用アスファルト	1.5	クランボード F4 または アキレスボード GF アスコンパウンド 3
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	—	スポットタック HC
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用) 流張り 防水工事用アスファルト	1.2	ベスト GA 砂付ルーフィング アスコンパウンド 3
5	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け 防水工事用アスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
③	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け 防水工事用アスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料



- \*1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材または ALC パネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
- \*2 プレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部および ALC パネル短辺接合部は、アスファルトプライマー乾燥後に幅 50mm 程度の絶縁テープを張り付ける。
- \*3 ALC パネル下地の場合のアスファルトプライマーの使用量は 0.4kg/㎡とする。
- \*4 立上りの工程 2 は、全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) で代替できるものとする。(AM-MT の場合)
- \*5 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
- \*6 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工事用シール材で処理する。
- \*7 出隅・入隅には、工程 2 に先立ち幅 300mm 程度のストレッチルーフィングによる増張り (防水工事用アスファルトの使用量は 1.0kg/㎡とする) を行う。
- \*8 脱気装置を設置する。その位置、種類および個数は、特記による。
- \*9 仕上塗料の種類と塗布量は、特記による。
- \*10 張付けに使用する防水工事用アスファルトは、JIS K 2207:2006 (石油アスファルト) の防水工事用 3 種とする。防水工事用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022 規格に適合するものとする。
- \*11 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等を定める件」(平成 28 年国土交通省告示第 265 号) の地域区分新旧表に定められた地域 1、地域 2、地域 3 および地域 4 においては、工程 2 に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、アスファルトルーフィング 1500 の流張り (防水工事用アスファルトの使用量は 1.0kg/㎡) とする。(AM-MT の場合)

## AC-IF 室内密着仕様

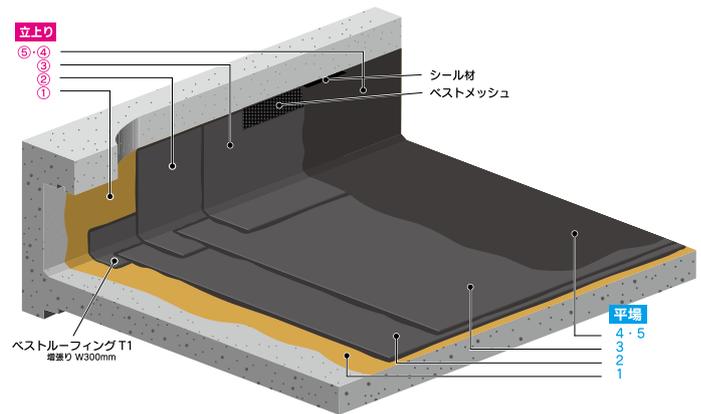
表 1.6.6

### 平場 RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング 1000 流張り 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド 3
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド 3

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	アスファルトプライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
③	ストレッチルーフィング 1000 張付け 防水工用アスファルト	1.0	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド 3
⑤	防水工用アスファルト塗り	1.0	アスコンパウンド 3



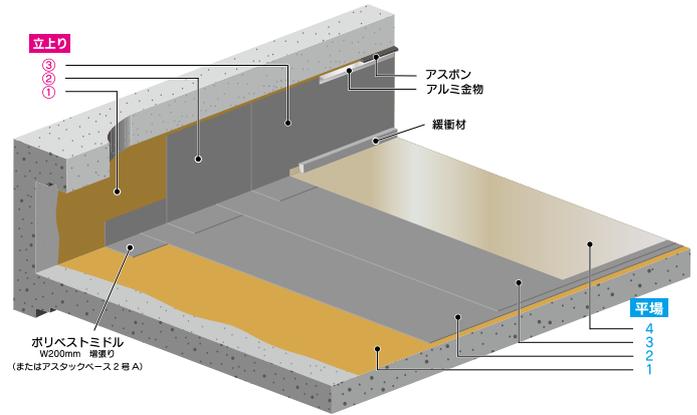
- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
- ※2 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
- ※3 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工用シール材で処理する。  
なお、室内で防水層の立上り高さが低い場合は、押え金物に代えて網状アスファルトルーフィングで処理する。
- ※4 出隅・入隅には、工程 2 に先立ち幅 300mm 程度のストレッチルーフィングによる増張り（防水工用アスファルトの使用量は 1.0kg/㎡とする）を行う。  
ただし、立上りの保護または仕上げを乾式工法、仕上塗料またはなしとする場合は、平場部と立上りの出隅・入隅の増張りを省略できる。
- ※5 張付けに使用する防水工用アスファルトは、JIS K 2207:2006（石油アスファルト）の防水工用 3 種とする。  
防水工用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022 規格に適合するものとする。

## AT-PF1 密着保護仕様

表 1.3.6

### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ナノオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル
3	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル
4	絶縁シートとの敷込み	—	絶縁スワシートまたは絶縁スワクロス



### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー塗り	0.2	ナノオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル
③	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル

- ※1 平場の保護層として現場打ちコンクリートまたはアスファルトコンクリートを用いる場合、その下地は現場打ち鉄筋コンクリート下地のみ適用する。
- ※2 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合はスラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※3 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には、工程 2 に先立ち、増張り用シートにより絶縁増張りを施す。
- ※4 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の指定による。
- ※5 立上りの仕上げ層を仕上塗料またはなしとする場合は、特記による。その場合、平場の工程 3 の改質アスファルトシートは入隅で張り止めて、立上りの工程 3 の改質アスファルトシート（露出複層防水用）を平場に 200mm 張りかけて立上りに張り付ける。
- ※6 平場の保護層の上に植栽を施す場合は、保護層の現場打ちコンクリートの施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※7 保護層としてモルタルを用いる場合は室内のみとする。
- ※8 保護層を砂利とする場合は、特記による。

## AT-PF2 密着保護仕様 (地下外壁)

表 1.3.7

### 地下外壁 RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ナノオアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル
3	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル

- ※1 立上り際の入隅には、あらかじめ 200mm 幅程度の増張り用シートを張り付ける。
- ※2 保護層を現場打ちコンクリートとする場合の鉄筋・型枠の固定方法は、特記による。
- ※3 保護層をコンクリートブロック類とする場合、その施工方法は特記による。

## AT-MF 密着露出仕様

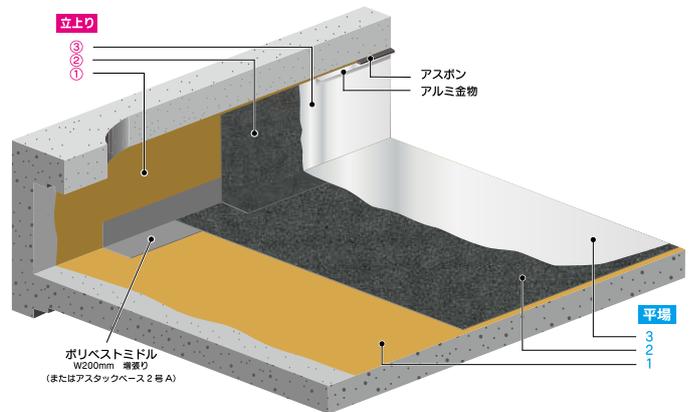
表 1.3.8

### 平場 RC・PCa・ALC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ナノアスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用、厚さ 4.0mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストキャップ
3	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー塗り	0.2	ナノアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (露出単層防水用、厚さ 4.0mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストキャップ
③	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料



- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材または ALC パネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※2 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部および ALC パネルの接合部には、工程 2 に先立ち絶縁増張りをする。
- ※3 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
- ※4 ALC パネル下地の場合は、プライマーの使用量は 0.4kg/㎡とする。
- ※5 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。

## AT-MT 断熱露出仕様

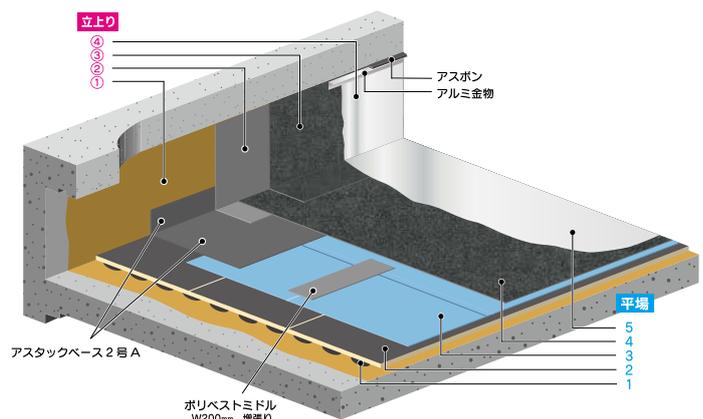
表 1.3.9

### 平場 RC・PCa・ALC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ナノアスファルトプライマー
2	断熱材 張付け	—	クランボード F4 または アキレスボード GF ハードボンド
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	スポットタック HC
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ 3.0mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストキャップ
5	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー塗り	0.2	ナノアスファルトプライマー
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 2.5mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストミドル
③	改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ 3.0mm 以上) トーチ張り	—	ポリベストキャップ
④	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料



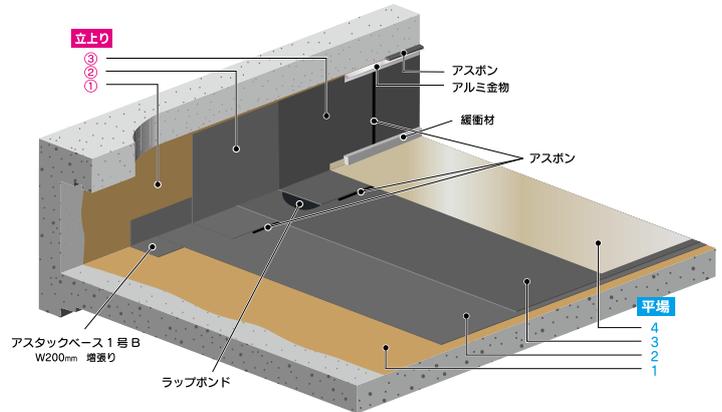
- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材または ALC パネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※2 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部および ALC パネルの短辺接合部には、断熱材の張付けに先立ち、絶縁テープ（幅 50mm 程度）を張り付ける。
- ※3 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
- ※4 ALC パネル下地の場合は、プライマーの使用量は 0.4kg/㎡とする。
- ※5 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材料製造所の指定による。
- ※6 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法に係る事項」（平成 28 年国土交通省告示第 265 号、最終改正 令和元年 11 月 15 日国土交通省告示第 783 号）の別表第 10 に定められた地域 1～地域 4 においては、工程 3「断熱材張付け」に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、防湿用シートとする。
- ※7 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。

### AS-PF 密着保護仕様

表 1.3.10

#### 平場 RC・PCa 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ベースプライマー
2	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	アスタックベース 1号 B
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	アスタックベース 1号 A
4	絶縁シート of 敷込み	—	絶縁スワシートまたは絶縁スワクロス



#### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー塗り	0.2	ベースプライマー
②	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	アスタックベース 1号 B
③	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	アスタックベース 1号 A

- ※1 平場の保護層として現場打ちコンクリートを用いる場合、その下地は現場打ち鉄筋コンクリート下地のみ適用する。
- ※2 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※3 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には、工程 2 に先立ち、増張り用シートにより絶縁増張りを施す。
- ※4 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の指定による。
- ※5 保護層の上に植栽を施す場合は、保護層の現場打ちコンクリートの施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※6 保護層を砂利とする場合は、特記による。
- ※7 保護層としてモルタルを用いる場合は室内のみとする。
- ※8 立上りの仕上げ層を仕上塗料またはなしとする場合は、特記による。その場合、平場の工程 3 の改質アスファルトシートは入隅で張り止めて、改質アスファルトシート (露出複層防水用) を 200mm 張りかけてから、立上りを張り付ける。

### AS-MS 絶縁露出仕様

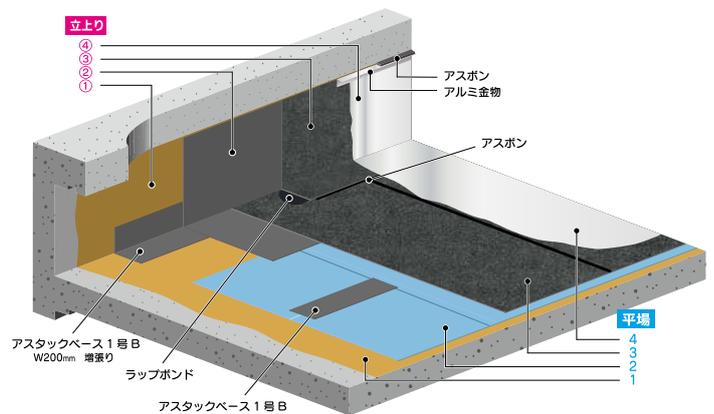
表 1.3.11

#### 平場 RC・PCa・ALC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ベースプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	スポットタック C
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ 2.0mm 以上) 張付け	—	アスタックルーフ S
4	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料

#### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー塗り	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	アスタックベース 1号 B
③	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ 2.0mm 以上) 張付け	—	アスタックルーフ S
④	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料



- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材または ALC パネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※2 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部および ALC パネルの短辺の接合部には、断熱材の張付けに先立ち絶縁テープ (幅 50mm 程度) を張り付ける。
- ※3 ALC パネル下地の場合のプライマーの使用量は 0.4kg/ m<sup>2</sup> とする。
- ※4 脱気装置を設置する。その位置、種類および個数は特記による。
- ※5 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。

## AS-MT 断熱露出仕様

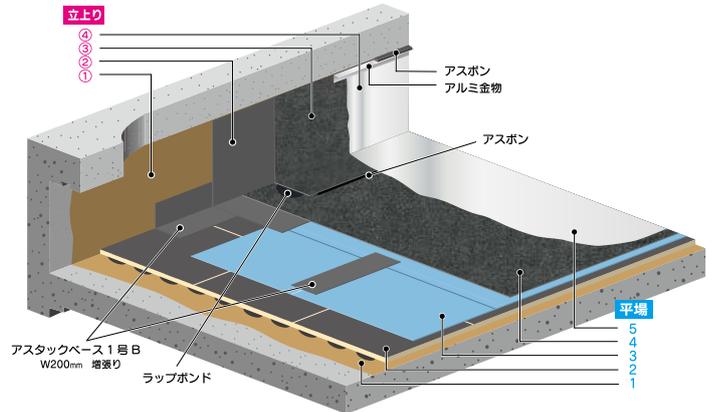
表 1.3.12

### 平場 RC・PCa・ALC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー塗り	0.2	ベースプライマー
2	断熱材 張付け	—	クランボード F4 または アキレスボード GF ハードボンド
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	スポットタック C
4	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ 2.0mm 以上) 張付け	—	アスタックルーフ S
5	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料

### 立上り RC 下地

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー塗り	0.2	ベースプライマー
②	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ 1.5mm 以上) 張付け	—	アスタックベース 1号 B
③	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ 2.0mm 以上) 張付け	—	アスタックルーフ S
④	仕上塗料 塗りまたはなし	—	保護塗料



- ※1 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材または ALC パネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※2 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部および ALC パネル短辺の接合部には、断熱材の張付けに先立ち、絶縁テープ（幅 50mm 程度）の絶縁テープを張り付ける。
- ※3 ALC パネル下地の場合のプライマーの使用量は 0.4kg/㎡とする。
- ※4 断熱材の種類と厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の仕様による。
- ※5 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法に係る事項」（平成 28 年国土交通省告示第 265 号、最終改正 令和元年 11 月 15 日国土交通省告示第 783 号）の別表第 10 に定められた地域 1～地域 4 においては、工程 2「断熱材張付け」に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、防湿用シートとする。
- ※6 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
- ※7 仕上塗料の種類と塗布量は、特記による。

## KP-10

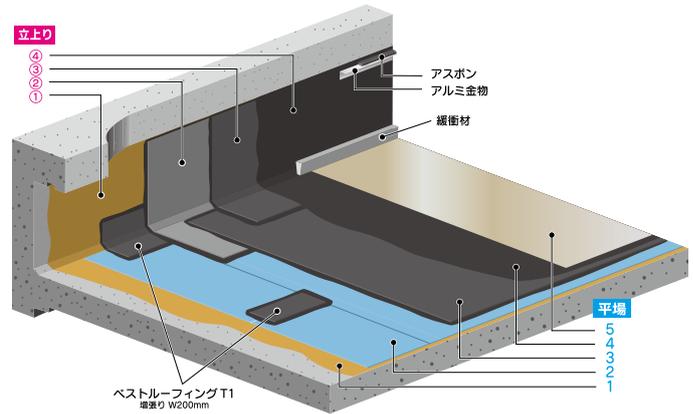
表 9.2.2.1

### 平場 コンクリート下地 (勾配 1/100 ~ 1/25)

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	絶縁用改質アスファルトルーフィングシート	—	スポットタック HC
3	ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3
5	フラットヤーンクロスまたはポリエチレンフィルム	—	絶縁スワシートまたは絶縁スワクロス

### 立上り

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
③	ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3



## KP-20

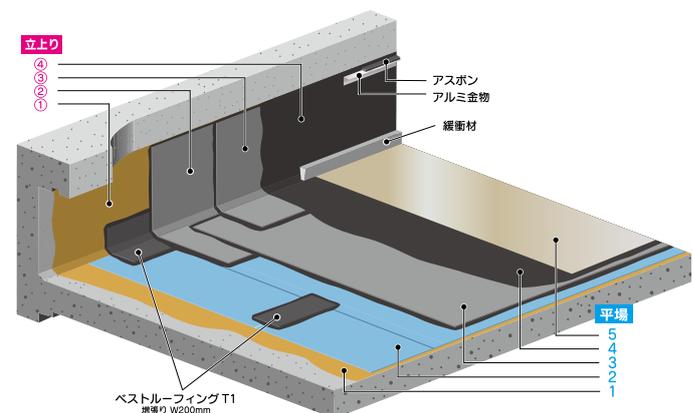
表 9.2.2.1

### 平場 デッキプレートのうえ コンクリート下地 (勾配 1/100 ~ 1/25)

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	絶縁用改質アスファルトルーフィングシート	—	スポットタック HC
3	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
4	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3
5	フラットヤーンクロスまたはポリエチレンフィルム	—	絶縁スワシートまたは絶縁スワクロス

### 立上り

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
③	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
④	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3



※1 立上り部は工程 2 の絶縁用改質アスファルトルーフィングシートを改質アスファルトルーフィングシートに替え、アスファルトにて密着張りとし、その範囲は立上り面から平面部へ 200mm 程度とする。

※2 アスファルトルーフィング類の厚さ・工法は製造者の仕様による。

## KPI-10

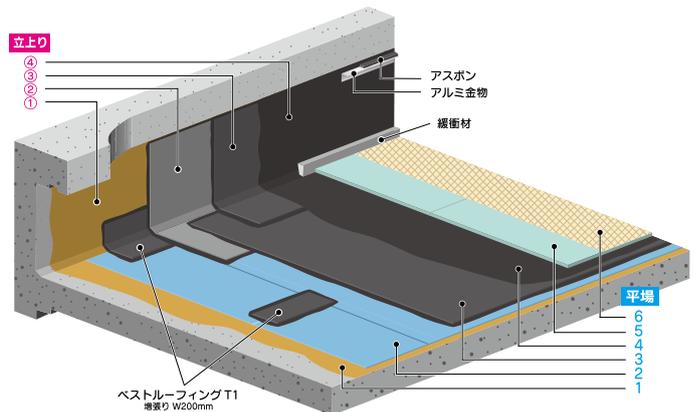
表 9.2.2.2

**平場** コンクリート下地 (勾配 1/100 ~ 1/25)

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	絶縁用改質アスファルトルーフィングシート	—	スポットタック HC
3	ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3
5	断熱材 (I)	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK
6	フラットヤーンクロスアスファルト	0.2	絶縁スワクロス アスコンパウンド 3

**立上り**

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトルーフィングシート アスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
③	ストレッチルーフィング アスファルト	1.2	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3



## KPI-20

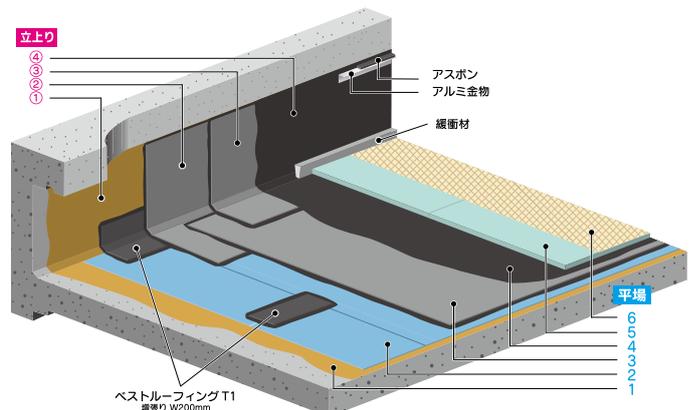
表 9.2.2.2

**平場** デッキプレートのうえ  
コンクリート下地 (勾配 1/100 ~ 1/25)

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
2	絶縁用改質アスファルトルーフィングシート	—	スポットタック HC
3	改質アスファルトルーフィングシート アスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
4	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3
5	断熱材 (I)	—	ミラフォーム M2RS または カネライトフォームスーパー E-BK
6	フラットヤーンクロス アスファルト	0.2	絶縁スワクロス アスコンパウンド 3

**立上り**

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナナオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトルーフィングシート アスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
③	改質アスファルトルーフィングシート アスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号 アスコンパウンド 3
④	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3



※1 立上り部は工程 2 の絶縁用改質アスファルトルーフィングシートを改質アスファルトルーフィングシートに替え、アスファルトにて密着張りとし、その範囲は立上り面から平面部へ 200mm 程度とする。

※2 アスファルトルーフィング類の厚さ・工法は製造者の仕様による。

## KS-10

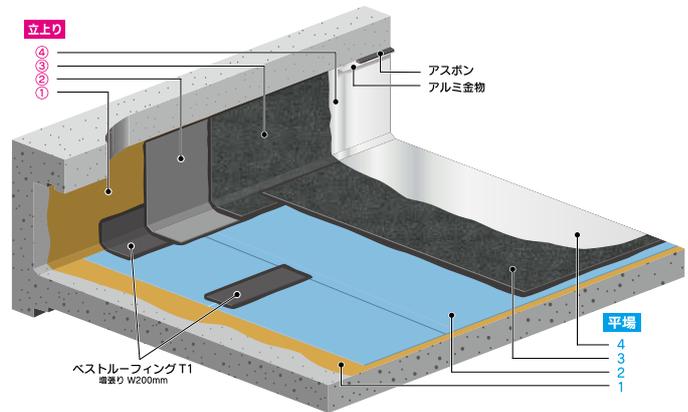
表 9.2.2.3

**平場** コンクリート下地 (勾配 1/50 以上)

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
2	絶縁用改質アスファルトルーフィングシート	—	スポットタック HC
3	砂付ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベスト砂付ルーフィングアスコンパウンド 3
4	保護塗料	—	保護塗料

**立上り**

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号アスコンパウンド 3
③	砂付ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベスト砂付ルーフィングアスコンパウンド 3
④	保護塗料	—	保護塗料



## KS-20

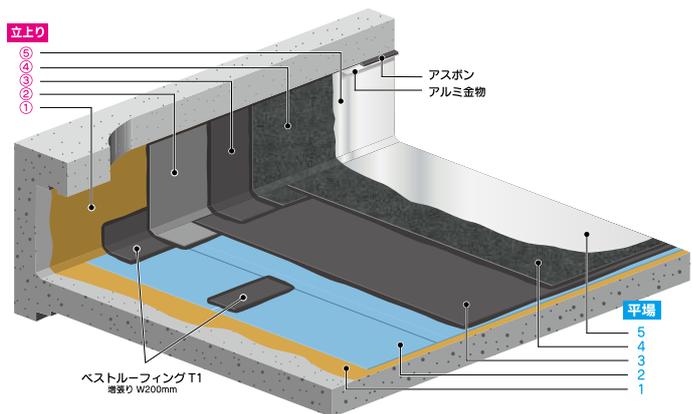
表 9.2.2.3

**平場** デッキプレートの上  
コンクリート・ALC パネル下地 (勾配 1/50 以上)

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
2	絶縁用改質アスファルトルーフィングシート	—	スポットタック HC
3	ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベストルーフィングT1アスコンパウンド 3
4	砂付ストレッチルーフィングアスファルト	1.5	ベスト砂付ルーフィングアスコンパウンド 3
5	保護塗料	—	保護塗料

**立上り**

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
②	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト	1.2	ニューハイベスト 1号アスコンパウンド 3
③	ストレッチルーフィングアスファルト	1.2	ベストルーフィングT1アスコンパウンド 3
④	砂付ストレッチルーフィングアスファルト	1.5	ベスト砂付ルーフィングアスコンパウンド 3
⑤	保護塗料	—	保護塗料



※1 ALC パネル下地においてはプライマーを 0.4kg/㎡使用する。  
 ※2 立上り部は工程 2 の絶縁用改質アスファルトルーフィングシートを改質アスファルトルーフィングシートに替え、アスファルトにて密着張りとし、その範囲は立上り面より平面部へ 150mm 程度とする。  
 ※3 KS-10、KS-20 工法には脱気装置を設けるものとし、取付け間隔は防水材料製造者の指定による。  
 ※4 アスファルトルーフィング類の厚さ・工法は製造者の仕様による。



## KID-10

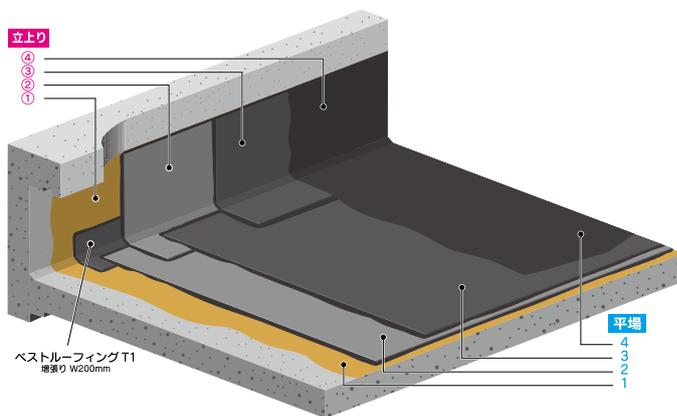
表 9.2.2.5

**平場** コンクリート下地（厨房・便所など）

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト	1.5	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト	1.5	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3

**立上り**

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
②	アスファルトルーフィング アスファルト	1.5	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
③	ストレッチルーフィング アスファルト	1.5	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3



## KID-20

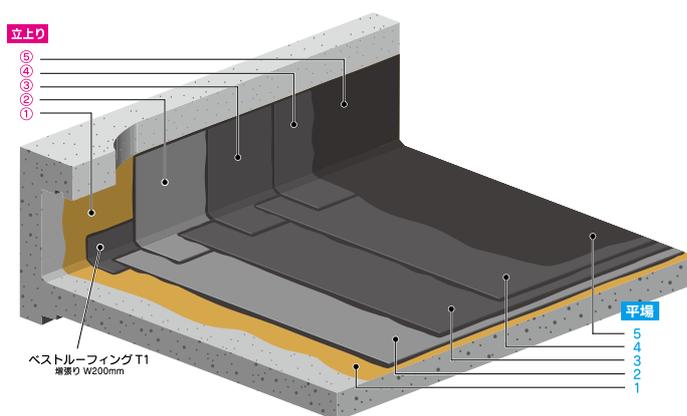
表 9.2.2.5

**平場** コンクリート下地（浴室・浴槽など）

工程	材 料	使用量	七王製品名
1	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング アスファルト	1.5	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
3	ストレッチルーフィング アスファルト	1.5	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
4	ストレッチルーフィング アスファルト	1.5	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
5	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3

**立上り**

工程	材 料	使用量	七王製品名
①	プライマー	0.2	ナノオアスファルトプライマー
②	アスファルトルーフィング アスファルト	1.5	アスファルトルーフィング 1500 アスコンパウンド 3
③	ストレッチルーフィング アスファルト	1.5	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
④	ストレッチルーフィング アスファルト	1.5	ベストルーフィング T1 アスコンパウンド 3
⑤	アスファルト	1.5	アスコンパウンド 3



種類	品名	規格	明細・用途
プライマー 下地処理剤 接着剤 アスファルト	ナナオアスファルトプライマー	16 kg / 缶	アスファルト系プライマー
	ベースプライマー	16.5 kg / 缶	改質アスファルト系プライマー
	ナナオ水性プライマー A	16 kg / 缶	無溶剤系プライマー
	ハードボンド	18 kg / 缶	アスファルト系接着剤 (硬質ウレタンフォーム断熱材接着用)
	ラップボンド	22 kg / 缶	改質アスファルト系接着剤 (常温工法 ラップ部接着用)
	ナナオアスボン	22 kg・11 kg / 缶 カートリッジ 330cc/本	改質アスファルト系シーリング材
	ナナオベースタイト	15.5 kg / 缶	アスファルト系下地調整材
	アスコンパウンド 3	25 kg / 袋	JIS K 2207 防水工事用アスファルト 3 種
	アスコンパウンド 3-i	25 kg / 袋	JIS K 2207 防水工事用アスファルト 3 種 (低臭低煙)
アスファルト ルーフィング	アスファルトルーフィング 1500	厚さ 1.6 mm 16m×1m	JIS A 6005 アスファルトルーフィング 1500
	ベストルーフィング T1	厚さ 1.6 mm 16m×1m	JIS A 6022 ストレッチルーフィング 1000
	ベスト砂付ルーフィング	厚さ 2.8 mm 8m×1m	JIS A 6022 砂付ストレッチルーフィング 800
	穴あき G	厚さ 2.8 mm 8m×1m	JIS A 6023 砂付あなあきルーフィング 2500
改質アスファルト ルーフィング	スポットタック HC	厚さ 1.5 mm 12m×1m	改質アスファルトルーフィングシート粘着層付部分接着型シート (熱工法用・トーチ工法用)
	スポットタック C	厚さ 1.5 mm 12m×1m	改質アスファルトルーフィングシート粘着層付部分接着型シート (常温工法用)
	ニューハイベスト 1号	厚さ 2.0 mm 16m×1m	改質アスファルトルーフィングシート非露出複層防水用
	アスタックベース 1号 A	厚さ 1.5 mm 15m×1m	改質アスファルトルーフィングシート粘着層付シート (常温工法用)
	アスタックベース 1号 B	厚さ 1.5 mm 15m×1m	改質アスファルトルーフィングシート粘着層付シート (常温工法用)
	アスタックベース 2号 A	厚さ 2.5 mm 10.5m×1m	改質アスファルトルーフィングシート粘着層付シート (常温工法用・トーチ工法用)
	ベスト GA 砂付ルーフィング	厚さ 3.0 mm 16m×1m	改質アスファルトルーフィングシート露出複層・単層防水用
	アスタックルーフ S	厚さ 3.2 mm 8m×1m	改質アスファルトルーフィングシート露出複層・単層防水用 (常温工法用)
	モイスポット	厚さ 1.0 mm 20m×1m	改質アスファルトルーフィングシート粘着層付シート (防湿層用)
	ポリベストミドル	厚さ 2.5 mm 10m×1m	改質アスファルトルーフィングシート非露出複層防水用 (トーチ工法用)
	ポリベストキャップ	厚さ 4.0 mm 8m×1m	改質アスファルトルーフィングシート露出複層・単層防水用 (トーチ工法用)
保護塗料	ナナオ水性カラー	15 kg / 缶	水性アクリル樹脂塗料
	ナナオ水性カラー CT	16 kg / 缶	高耐候性高日射反射率塗料 (水性アクリルシリコン樹脂塗料)
	IR コート AE	12 kg / 缶	機能性熱交換塗料 (アクリルエマルジョン (1液性))
断熱材	クランボード F4 アキレスボード GF	厚さ 25・30・35・40・50・60mm <sup>※</sup> 605 mm×910 mm (※受注生産)	硬質ウレタンフォーム
	ミラフォーム M2RS カネライトフォームスーパー E-BK	厚さ 25・30・35・40・50 mm 910 mm×910 mm、910 mm×1820 mm	押出法ポリスチレンフォーム
絶縁シート 副資材	絶縁スワシート	厚さ 0.15 mm 100m×1m	防水層保護 ポリエチレンフィルム
	絶縁スワクロス	100m×102 cm 80g/㎡ (ポリプロピレン)	防水層保護 フラットヤーンクロス
	ベストメッシュ	33m×1m	網状アスファルトルーフィング (合成繊維)
	コーナーキャント	L=910 mm	成形面取材
	コーナーバッファー	p.36 参照	立上り緩衝材
	ポリタスケ	厚さ 2.0 mm 150 mm×500 mm	改質アスファルト
	脱気装置	ステンレス製	ステンレスブリザー
	OK ドレン	p.37 参照	改修用鉛ドレン
	ストレーナーキャップ	p.37 参照	ドレンストレーナーキャップ

# ● 材料紹介

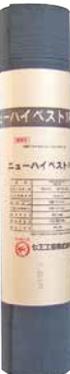


## プライマー・下地処理材・接着剤・アスファルト

<p>ナナオアスファルトプライマー</p>	<p>ベースプライマー</p>	<p>ナナオ水性プライマー A</p>
<p>アスファルト系プライマー</p>  <p>アスファルトと特殊揮発性溶剤の混合物で、防水層との接着を良くします。</p> <p><b>16 kg / 缶</b></p>	<p>改質アスファルト系プライマー</p>  <p>アスファルトと合成ゴム樹脂との混合物で、改質アスファルトとの接着が良好で、乾燥も速く施工性の良いプライマーです。</p> <p><b>16.5 kg / 缶</b></p>	<p>無溶剤系プライマー</p>  <p>溶剤をまったく含んでいない特殊樹脂エマルジョン系プライマーです。引火の心配がなく、安全な作業ができます。</p> <p><b>16 kg / 缶</b></p>
<p>ハードボンド</p>	<p>ラップボンド</p>	<p>ナナオアスボン</p>
<p>アスファルト系接着剤</p>  <p>アスファルトと特殊揮発性溶剤の混合物で、常温工法におけるカラスーパータイトや硬質ウレタンフォームなどの接着に使用します。</p> <p><b>18 kg / 缶</b></p>	<p>改質アスファルト系接着剤</p>  <p>特殊ゴムとアスファルト、特殊揮発性溶剤の混合物で、常温工法におけるアスタックルーフS相互の接着補助材や端部のシール材として水密性を確保します。</p> <p><b>22 kg / 缶</b></p>	<p>改質アスファルト系シーリング材</p>  <p>改質アスファルト系シーリング材で、防水層の重要部分の端末処理などに使用します。</p> <p>カートリッジ 330cc/本 <b>11 kg・22 kg / 缶</b></p>
<p>ナナオベースタイト</p>	<p>アスコンパウンド 3</p>	<p>アスコンパウンド 3-i</p>
<p>アスファルト防水層下地調整剤</p>  <p>既在アスファルト防水層に塗布する下地調整材で、劣化した旧防水層の活性化させる機能を持っています。</p> <p>使用量：0.5～1.0kg</p> <p><b>15.5 kg / 缶</b></p>	<p><b>JIS K 2207</b> 防水工事用アスファルト 3種</p>  <p>厳しい品質管理のもとで製造されており、耐候性や幅広い温度特性など防水工事用アスファルトとして最高レベルの製品です。</p> <p><b>25 kg / 袋</b></p>	<p><b>JIS K 2207</b> 低臭低煙 防水工事用アスファルト 3種</p>  <p>臭いと煙の発生を抑えた環境対応型の防水工事用アスファルトです。</p> <p><b>25 kg / 袋</b></p>



## アスファルトルーフィング・改質アスファルトルーフィング

<p><b>アスファルトルーフィング 1500</b></p>  <p><b>JIS A 6005</b> アスファルトルーフィング 1500</p> <p>ラグ原紙にアスファルトを浸透させ、両面に被覆用アスファルトを塗布、その表裏に鉱物質粉粒を散布したものです。耐候性に富んでおり、施工後も長期にわたり安定した性状を保ちます。</p> <p>1.6 mm厚 <b>16m×1m</b></p>	<p><b>ベストルーフィング T1</b></p>  <p><b>JIS A 6022</b> ストレッチルーフィング 1000</p> <p>合成繊維不織布を基材とし、これに耐候性、温度特性に優れた高級アスファルトを含浸塗覆したもので、寸法安定性、耐久性に優れ、抗張積が極めて大きく破断しにくいストレッチルーフィングです。</p> <p>1.6 mm厚 <b>16m×1m</b></p>	<p><b>ベスト砂付ルーフィング</b></p>  <p><b>JIS A 6022</b> 砂付ストレッチルーフィング 800</p> <p>合成繊維不織布 100% の強力な JIS 規格の砂付ストレッチルーフィングです。優れた耐候性や耐亀裂性、熱安定性などの特性は、アスファルト露出防水の価値をさらに一段と高め、揺るぎないものにしました。</p> <p>2.8 mm厚 <b>8m×1m</b></p>
<p><b>穴あき G</b></p>  <p><b>JIS A 6023</b> あなあきルーフィング 1100</p> <p>一定の穴をあけたガラス繊維基材にアスファルトを含浸被覆し、その裏面に砂付、表面に細砂を散布圧着したもので、寸法安定性、耐腐食性、耐薬品性などに優れた安定性抜群の下地材で、絶縁工法用として防水層の膨れ・破断防止に性能を発揮します。</p> <p>2.8 mm厚 <b>8m×1m</b></p>	<p><b>スポットタック HC</b></p>  <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 非露出複層防水用 R 種Ⅱ類</p> <p>合成繊維を使用した改質アスファルトルーフィングで、裏面にストライプ状の粘着層になっており、下地に部分接着する絶縁ルーフィング 通気性が確保され、膨れ防止の効果を発揮する。1工程で通気層と防水層の2層分の施工ができ、防水層の破断・損傷を防ぐ。</p> <p>1.5 mm厚 <b>12m×1m</b></p>	<p><b>スポットタック C</b></p>  <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 非露出複層防水用 R 種Ⅱ類</p> <p>合成繊維を使用した改質アスファルトルーフィングをベースにして、裏面剥離紙を剥がすとストライプ状に粘着層が付いており、圧着することにより下地に部分接着する絶縁ルーフィングです。 部分接着により通気性が確保され、膨れ防止の効果を発揮します。さらに、1工程で2層分の施工ができ、防水層の破断・損傷を防ぎます。 スポットタック C は、表面にフィルムが施されており、常温粘着工法に使用します。</p> <p>1.5 mm厚 <b>12m×1m</b></p>
<p><b>ニューハイベスト 1号</b></p>  <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 非露出複層防水用 R 種Ⅱ類</p> <p>合成繊維不織布に温度特性に優れた粘弾性に富んだ改質アスファルトを含浸塗覆したもので、極めて柔軟性に富み、下地の挙動からくる応力を緩和分散するのに効果的な役目を果たす。</p> <p>2.0 mm厚 <b>16m×1m</b></p>	<p><b>アスタックベース 1号 A</b> <b>アスタックベース 1号 B</b></p>  <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 非露出複層防水用 R 種Ⅱ類</p> <p>ポリエステル不織布に改質アスファルトを含浸塗覆したもので、裏面に粘着層が付いており、剥離フィルムを剥がすことにより下地のほか、シート相互の接合もできるシートです。 高い粘弾性は、温度変化を受けにくく、長期脆化することがありません。</p> <p>1.5 mm厚 <b>15m×1m</b></p>	<p><b>アスタックベース 2号 A</b></p>  <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 非露出複層防水用 R 種Ⅱ類</p> <p>強力なポリエステル不織布を基とし、温度特性に優れた粘弾性に富んだ改質アスファルトを含浸塗覆したもので、優れた耐候性や耐亀裂性は、露出防水の仕上げ層として理想的なルーフィングです。</p> <p>2.5 mm厚 <b>10.5m×1m</b></p>

# ● 材料紹介



## 改質アスファルトルーフィング

ベストGA 砂付ルーフィング	アスタックルーフS	モイスロット
 <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 露出単層・複層防水用 R種Ⅱ類</p> <p>強力なポリエステル不織布を基材とし、温度特性に優れ粘弾性に富んだ改質アスファルトを含浸塗覆したもので、優れた耐候性や耐亀裂性を持った露出防水用の砂付改質アスファルトルーフィング</p> <p>3.0 mm厚 <b>8m×1m</b></p>	 <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 露出単層・複層防水用 R種Ⅱ類</p> <p>強力なポリエステル不織布を基材とし、温度特性に優れ粘弾性に富んだ改質アスファルトを含浸塗覆したもので、優れた耐候性や耐亀裂性は、露出防水の仕上げ層として理想的なルーフィングです。</p> <p>3.2 mm厚 <b>8m×1m</b></p>	 <p>表面全面粘着層 常温工法 部分粘着層付 防湿層用</p> <p>露出断熱防水の最下層に施工するもので、防湿層としての効果を発揮するとともに、裏面にゴムアス粘着層を施してあり、断熱材を貼り付けることができるシートです。</p> <p>1.0 mm厚 <b>20m×1m</b></p>
ポリベストミドル	ポリベストキャップ	 <p>ポリベストキャップ施工例</p>
 <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 非露出複層防水用・補強張り用 R種Ⅱ類</p> <p>SBS 改質アスファルトルーフィングです。複層用、補強張り用として使用します。</p> <p>2.5 mm厚 <b>10m×1m</b></p>	 <p><b>JIS A 6013</b> 改質アスファルトルーフィングシート 露出単層・非露出複層防水用 R種Ⅱ類</p> <p>SBS 改質アスファルトルーフィングです。露出仕上の砂付ルーフィングで、下地の挙動からくる応力を緩和・分散しますので、単層施工においても防水性能を保持します。</p> <p>4 mm厚 <b>8m×1m</b></p>	

材料紹介

## 保護塗料

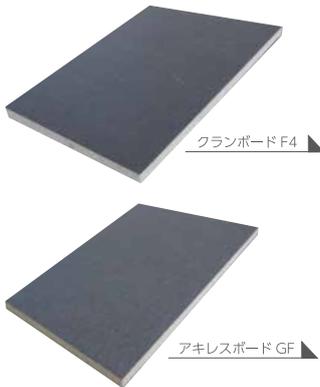
ナナオ水性カラー	ナナオ水性カラー CT 	IR コート AE 
<p><b>水性アクリル樹脂塗料</b></p> <p>アスファルト、シート、塗膜防水層の表面保護化粧材として開発されたもので、耐候性、耐薬品性、耐水性に優れ、水性系なので火気に対する心配もありません。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー</li> <li>シルバーグレー</li> <li>グレー</li> <li>グリーン</li> </ul> <p>● 塗布量 0.4 ~ 0.5 kg / m<sup>2</sup> (2回塗り) ※シルバーは下記とする 0.3 ~ 0.4 kg / m<sup>2</sup> (2回塗り)</p> <p><b>15 kg / 缶</b></p>	<p><b>高耐候性高日射反射率塗料</b> 水性アクリルシリコン樹脂</p> <p>高耐候性の反応硬化型アクリルシリコン樹脂を使用することにより、耐久性に優れた強靱な塗膜が形成され、長期にわたり防水層を保護します。近赤外線反射性能に優れた顔料とセラミックパルーンの相乗効果により塗装表面の温度上昇を抑制します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ライトグレー</li> <li>ライトグリーン</li> <li>ホワイト</li> </ul> <p>● 塗布量 0.4 ~ 0.5 kg / m<sup>2</sup> (2回塗り)</p> <p><b>16 kg / 缶</b></p>	<p><b>機能性熱交換塗料</b> アクリルエマルジョン (1液性)</p> <p>特殊な混和剤を加えた、反射の原理を用いずに防水層表面の温度上昇を抑制できる塗料です。成分の起電現象によりエネルギー転換が起こる事で消熱効果が得られるため、表面が汚れても効果は持続されます。耐候性、防汚性に優れ、チョーキングを起こしにくく、美観の長期存続が可能です。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>クリーム</li> <li>ブラウン</li> <li>レンガ</li> <li>グレー</li> <li>グリーン</li> <li>ブルー</li> <li>オーカー</li> <li>ブラック</li> </ul> <p>● 塗布量 0.4 kg / m<sup>2</sup> (2回塗り)</p> <p><b>12 kg / 缶</b></p>



## 断熱材

### クランボード F4 アキレスボード GF

JIS A 9521:2017 硬質ウレタンフォーム断熱材 3種1号Dレベル  
JIS A 9521:2014 硬質ウレタンフォーム保温板 2種1号の透湿係数を除く規格に適合



硬質ウレタンフォームの両面に無機質不織布加工面材を張り付けたもので、耐腐食性に優れボードの経時変化が殆どなく、しかも断熱性に優れたノンフロンタイプの断熱材です。

項目	物性値
密度 (kg/m <sup>3</sup> )	35以上
熱伝導率 (平均温度 23℃ (w/(m・K)))	0.023以下
圧縮強さ (N/cm <sup>2</sup> )	10以上
曲げ強さ (N/cm <sup>2</sup> )	25以上
吸水量 (g/100cm <sup>2</sup> )	5.0以下

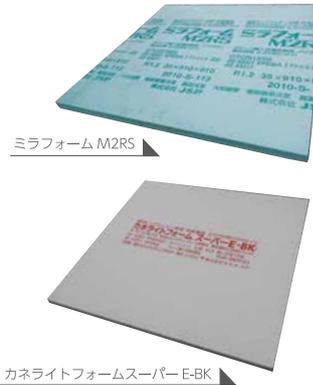
JIS A 9521:2017 による

厚さ 25・30・35・40・50・60\*  
**605 mm × 910 mm**

\* 受注生産品  
\* アキレスボードの60mm厚は605mm×850mm

### ミラフォーム M2RS カネライトフォームスーパー E-BK

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA規格品



高い透湿抵抗を持つ高性能断熱材です。屋上外断熱工法に最適の断熱材で、その優れた性能は、防水層とコンクリートスラブを厳しい条件から守るほか、室内の環境も安定した状態を保ちます。

項目	物性値
密度 (kg/m <sup>3</sup> )	25以上
熱伝導率 (平均温度 23℃ (w/(m・K)))	0.028以下
圧縮強さ (N/cm <sup>2</sup> )	20以上
曲げ強さ (N/cm <sup>2</sup> )	25以上
燃焼性	合格
吸水量 (アルコール液) (g/100cm <sup>2</sup> )	0.01以下
透湿係数 (厚さ 25mm 当たり) (ng/m <sup>2</sup> ・s・Pa)	55以下

厚さ 25・30・35・40・50

ミラフォーム M2RS : **910 mm × 910 mm / 910 mm × 1820 mm**

カネライトフォームスーパー E-BK : **910 mm × 910 mm**

## 絶縁シート・副資材

### 絶縁スワシート

#### ポリエチレンフィルム



防水層を保護する厚さ 0.15 mm のポリエチレンフィルムです。

0.15 mm 厚  
**100m × 1m**

### 絶縁スワクロス

#### ポリプロピレン



防水層を保護する 80g/m<sup>2</sup> のフラットヤーンクロスです。

80g/m<sup>2</sup>  
**100m × 102cm**

### ベストメッシュ

#### 網状アスファルトルーフィング 合成繊維



網状の合成繊維の原反を、高品質の加熱溶融したアスファルト中に浸せさせた網状アスファルトルーフィングです。ドレンまわり、配管まわり、立上り端末仕上げ等の補強、増張りに使用するもので、耐腐食性に富み柔軟でなじみやすく、施工性に優れています。

**33m × 1m**

### コーナーキャント

#### 成形面取材



硬質ウレタンフォームを成型した露出防水の入隅部に施工する面取材です。

**L=910 mm**

### コーナーバッファー

#### 立上り緩衝材



材質：発砲ポリエチレン

規格 (mm)

目地幅	20・25・30・40
高さ	50・60・70・80
長さ	1500

### ポリタスケ

#### 改質アスファルト



ポリベスト工法で使用している改質アスファルトをそのまま成形してシート状にしています。ポリベスト工法の優れた防水性、耐候性を維持しています。

2 mm 程度 厚  
1.6kg / ケ-ス(梱包材込み) 10 枚入  
**150 mm × 500 mm**



## 脱気装置

### 脱気筒 ステンレスブリザー



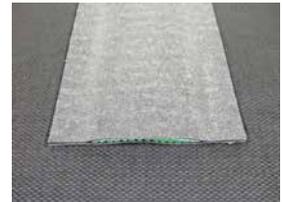
#### ステンレス製

耐候性、耐久性に優れたステンレスを用いた脱気筒です。絶縁工法における平面部に設置するもので、スラブ内の湿気を抜き取るのに適した機能を持っており、防水層の寿命の大幅な伸長に効果的です。立上り部で脱気するベントユーザーも用意しています。

ステンレスブリザーは 80 m<sup>2</sup>程度に 1 ヶ所の割合で均等に設置します。ベントユーザーは、立上り部の長さ 10m 程度に 1 ヶ所、立上り面に設置します。



ベントユーザー 上部



ベントユーザー 下部

## 改修用鉛ドレン・ドレンストレーナーキャップ

### 改修用鉛ドレン・ドレンストレーナーキャップ

#### ● OKドレン タテ引き用

単位：mm

型番	筒部			皿部
	外径	長さ	呼び径	
T-50	φ45	180	φ42	300×300
T-70	φ65	180	φ62	300×300
T-90	φ87	180	φ84	300×300
T-100	φ95	180	φ92	300×300



タテ引き用

#### ヨコ引き用（鉛ロングパイプ）

単位：mm

型番	筒部			皿部
	外径	長さ	呼び径	
YL-70	φ65	400	φ62	400×400
YL-100	φ95	400	φ92	400×400



ヨコ引き用（鉛ロングタイプ）

#### ヨコ引き用（フレキシブルホース付）

単位：mm

型番	筒部			皿部
	外径	長さ	呼び径	
60FH	φ60	400	φ46	300×300
75FH	φ72	600	φ58	400×400
90FH	φ86	600	φ71	400×400
100FH	φ96	600	φ84	400×400



ヨコ引き用（フレキシブルホース付）

#### ● ストレーナーキャップ 改修用 タテ引き用

型番	適用パイプ呼び径	材質	カバー色
DSH-11	40 mm～75 mm	アルミダイカスト	ライトグレー・ブラック
DSR-17N	50 mm～80 mm		
DSR-22PS	75 mm～125 mm		

#### 改修用 ヨコ引き用（角度自在型）

型番	適用パイプ呼び径	材質	カバー色
DSYS-15	50 mm～100 mm	アルミダイカスト	ライトグレー・ブラック



DSH-11



DSR-17N

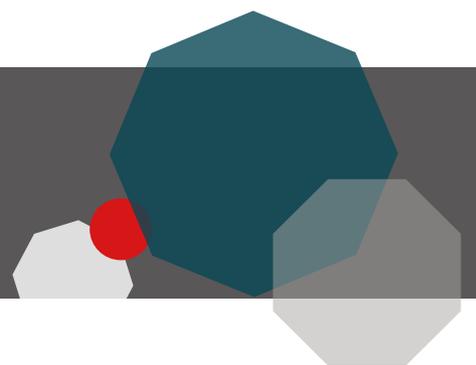


DSR-22PS



DSYS-15  
角度自在型

- カタログに掲載している製品の色は、印刷上の都合のため実際の製品と異なる場合があります。
- カタログに記載している製品の寸法と重量は、実際の製品と多少異なる場合があります。





## 七王工業株式会社

本 社	〒765-0031 香川県善通寺市金蔵寺町 180	TEL 0877-62-0951	FAX 0877-62-4927
中四国営業所	〒765-0031 香川県善通寺市金蔵寺町 180	TEL 0877-62-0951	FAX 0877-62-4927
東京営業所	〒132-0025 東京都江戸川区松江 1-6-15	TEL 03-3652-8151	FAX 03-3652-8153
大阪営業所	〒555-0034 大阪府大阪市西淀川区福町 3-1-50	TEL 06-6474-7841	FAX 06-6474-7809
北海道営業所	〒069-0812 北海道江別市幸町 11-1	TEL 011-384-0121	FAX 011-385-2442
福岡営業所	〒811-1355 福岡県福岡市南区桧原 2-46-3		FAX 050-3737-6148



## 全日アスファルト防水事業協同組合